

**瀬戸市市内基幹バス
利用者アンケート業務**

報 告 書

平成29年12月

瀬戸市地域公共交通会議

目 次

1. 調査実施概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査実施概要及び回収結果	1
1.3 数値の統計的な取扱いについて	1
1.4 調査票	2
2. アンケートの集計結果	12
2.1 あなた自身のことについて	12
2.2 瀬戸北線の利用について	17
2.3 瀬戸北線の満足度	26
2.4 瀬戸北線の利用状況	36
2.5 瀬戸北線を利用される理由について	37
2.6 瀬戸北線の利用意向について	38
2.7 市内基幹バス（名鉄バス）の割引制度について	39
2.8 公共交通の費用分担と維持のあり方について	40
2.9 瀬戸北線に対する考えやアイデアについて	41

1. 調査実施概要

1.1 調査の目的

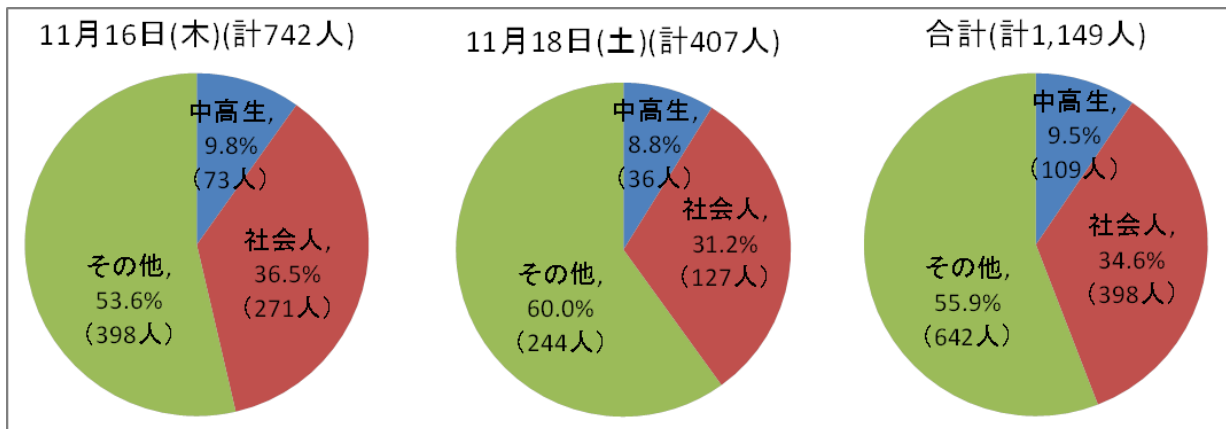
瀬戸市では、都市計画マスタープランにおける将来都市構造として「多極ネットワーク型コンパクト構造」を目指すこととしており、平成30年度には、持続可能な地域公共交通網の形成を図るため、「地域公共交通網形成計画」を策定することとしている。

そこで、瀬戸北線の利用者を対象に、利用の実態や満足度、今後の改善に向けたアイデアなどを把握するため、アンケート調査を実施した。

1.2 調査実施概要及び回収結果

項目	内容
調査対象	市内基幹バス（瀬戸北線）の利用者（始発便～最終便）
調査方法	バス内での直接配布、郵送回収
調査時期	平成29年11月16日(木)、11月18日(土)
配布票数	545票
回収票数	230票(回収率 約42%)

1.3 利用状況（見た目（年齢・服装等）で分類



1.4 数値の統計的な取扱いについて

比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が100%を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約70%”などと、小数点以下1位を四捨五入した整数値で表記する。

設問に対する回答者の母数は、“n=〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出する。

1.5 調査票

市内基幹バス（瀬戸北線）に関する 利用者アンケートのお願い

日頃から、本市の交通行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、近年の加速度的な人口減少、少子高齢化の進展により、公共交通事業をとりまく環境は年々厳しさを増しており、瀬戸北線につきましても、平成 24 年度から 28 年度までの 5 年間で利用者が 2 万人減少しています。

市では、都市計画マスタープランにおける将来都市構造として「多極ネットワーク型コンパクト構造」を目指すこととしており、平成 30 年度には、持続可能な地域公共交通網の形成を図るため、「地域公共交通網形成計画」を策定することとしております。

そこで、瀬戸北線をご利用の方々を対象に、利用の実態や満足度、今後の改善に向けたアイデアなどを把握するため、アンケート調査を行います。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 29 年 11 月

瀬戸市長
瀬戸市地域公共交通会議会長 **伊藤 保徳**

< 調査票ご記入に当たっての注意事項 >

1. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。なお、ご回答は差支えの無い範囲でお答えください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**11月30日（木）**までに、お近くのポストに投函してください。
3. ご回答いただいた結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

【アンケートに関する問合せ】

瀬戸市役所 都市整備部 都市計画課（電話 0561-88-2666）

【調査受託者】

アジア航測株式会社

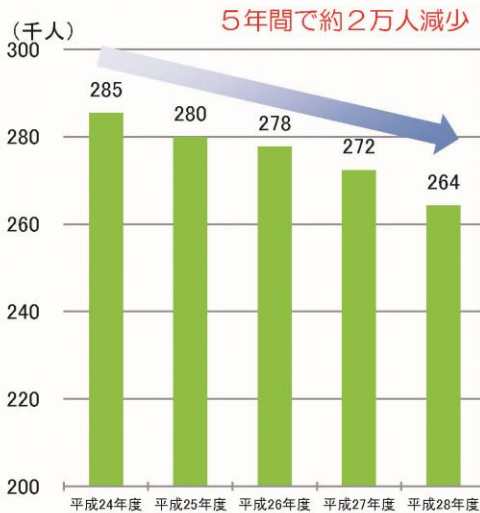
※本調査は調査票の配布・回収をアジア航測株式会社に委託しており、調査票の返信先は同社としております。

ご参考：アンケート調査をお答えになる前にご覧ください

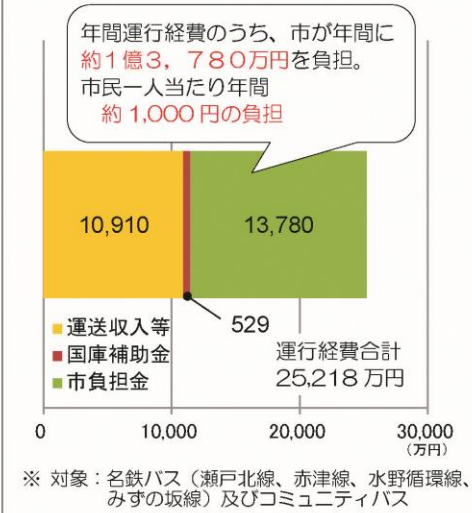
【バスの利用状況・運行経費】

- 人口減少や少子高齢化、自家用車への依存の高まりなどにより、市内基幹バス（瀬戸北線）の利用者数は、平成24年度以降の5年間で約2万人減少しています。
- バス路線を維持するために、瀬戸市では年間に約1億3,780万円（年間運行経費の約55%相当）の財政負担をしています。

市内基幹バス（瀬戸北線）の利用者数について



市内のバス交通の運行経費について*



※ 対象：名鉄バス（瀬戸北線、赤津線、水野循環線、みずの坂線）及びコミュニティバス

【市内基幹バス 瀬戸北線路線図】

市内基幹バス「瀬戸北線路線図」



市内基幹バス（瀬戸北線）に関する 利用者アンケート調査票

■あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなた自身のことについて、各項目で該当する番号に○をつけてください。

①性別 (<u>1つ</u> に○)	1. 男性 2. 女性
②年齢 (<u>1つ</u> に○)	1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳以上
③職業 (<u>1つ</u> に○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業・自由業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦（主夫） 5. 小学生 6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生・専門学校生等 9. 無職・その他
④お住まい (市町村・町丁目 ^{を記入})	お住まいの市町村・町丁目（記入例 瀬戸市陶原町1丁目） (_____)
⑤運転免許 (当てはまる番号に○ <u>複数回答可</u>)	1. 自動車運転免許 2. 自動二輪免許 3. 原付免許 4. 持っていない
⑥自動車の利用状況 (<u>2つまで</u> ○)	1. 自分で自動車をよく運転している 2. 家族等が送迎する自動車をよく利用している 3. 自動車を利用することはあまりない 4. 自動車を利用しない

アンケートを受け取った当日のバス利用についてお尋ねします。
アンケートを複数受け取った方は、行きのバス利用についてお答えください。

■瀬戸北線の利用についておたずねします。

問2 本日は瀬戸北線をどのような目的で利用されましたか。
該当する番号1つに○を付けてつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|----------------|-------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 通院 |
| 5. 業務 | 6. 飲食・趣味・娯楽 | 7. 観光・レクリエーション | |
| 8. 帰宅 | 9. その他 () | | |

問3 目的地をお答えください。
該当する番号1つに○をつけ、具体的な施設名をご記入ください。

- | |
|---------------|
| 1. 市内：施設名 () |
| 2. 市外：施設名 () |
| 3. 自宅 |

問4 「乗車したバス停」、「降車したバス停」のそれぞれの名称を、別紙の「瀬戸北線路線図」を参考にご記入ください。また、「乗車」の概ねの時刻をご記入ください。

【乗車】 ()バス停を 午前・午後 ()時 ()分頃乗車
【降車】 ()バス停

問5 乗車したバス停までの移動手段と移動に掛かった時間をお答えください。
該当する番号全てに○をつけ、掛かった時間をご記入ください。

【バス乗車前の移動手段】			
1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動車（自分で運転）	4. 自動車（他の人が運転）
5. 原付・バイク	6. コミュニティバス	7. 名鉄バス	
8. 名鉄瀬戸線	9. 愛知環状鉄道	10. タクシー	
11. その他 ()			
【移動に掛かった時間】			
()分程度			

問6 バスを降りた後の移動手段と移動に掛かった時間をお答えください。
該当する番号全てに○をつけ、掛かった時間をご記入ください。

【バスを降りた後の移動手段】

- | | | | |
|------------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自動車（自分で運転） | 4. 自動車（他の人が運転） |
| 5. 原付・バイク | 6. コミュニティバス | 7. 名鉄バス | |
| 8. 名鉄瀬戸線 | 9. 愛知環状鉄道 | 10. タクシー | |
| 11. その他（ _____ ） | | | |

【移動に掛かった時間】

（ _____ ）分程度

問7 運賃の支払い方法をお答えください。
該当する番号1つに○をつけてください。

【定期利用】

1. 通勤定期 2. 通学定期

【定期以外】

3. 現金 4. ICカード（manaca（マナカ）、TOICA（トイカ））等
5. その他（ _____ ）

問8 本日は、瀬戸北線は「行き」と「帰り」の往復で利用されましたか。
該当する番号1つに○をつけてください。

1. 行き・帰りで利用した
2. 行きまたは帰りのみ利用した（2. を回答された方は、次の質問にご回答ください。）

↓
行き・帰りのどちらかしかバスを利用されなかった理由をお答えください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 本数が少ないから | 2. 利用したい時間と合わないから |
| 3. 始発が遅いため利用できないから | 4. 終発が早いため利用できないから |
| 5. バスが時間どおりに来ないから | 6. 鉄道・他のバスとの乗り継ぎが不便だから |
| 7. 自家用車等で送迎してもらうから | 8. 特に理由はない |
| 9. その他（ _____ ） | |

問9 バスを乗降されるときの状況をお答えください。
該当する番号1つに○をつけてください。

1. 1人で困難なく乗降できる
2. 補助なしで1人で乗降できるが、困難を感じる
3. 杖や手押し車などがあれば、1人で乗降できる
4. 介添えがあれば乗降できる

普段のバス利用等についてお尋ねします。

■瀬戸北線の満足度についておたずねします。

問10 瀬戸北線の満足度について、どの程度満足しているかを5段階の評価で該当するもの1つに○をつけ、「やや不満」または「不満」と回答された項目は、具体的な改善内容をご記入ください。

バスの満足度		満足度				
		満足	やや満足	どちらとも いえません	やや不満	不満
バスサービスについて	例：③バスの運行時間帯	5	4	3	②	1
	①バスの運賃	5	4	3	2	1
	②バスの運行本数	5	4	3	2	1
	③バスの運行時間帯	5	4	3	2	1
	④運行経路	5	4	3	2	1
	⑤自宅から最寄りのバス停までの距離	5	4	3	2	1
	⑥降車バス停から目的地・施設までの距離	5	4	3	2	1
	⑦目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
	⑧到着時間の正確さ	5	4	3	2	1
	⑨乗務員の対応	5	4	3	2	1
	⑩バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況など）	5	4	3	2	1
	⑪バス停周辺の施設（駐輪場など）	5	4	3	2	1
	⑫バス停の時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1
	⑬バス車内の案内表示のわかりやすさ	5	4	3	2	1
	⑭バスの乗り降りのしやすさ	5	4	3	2	1
	⑮バスの乗り心地	5	4	3	2	1
⑯手持ちの路線図、時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	
つ 乗 い て 継 ぎ に	⑰乗り継ぎの際の待ち時間	5	4	3	2	1
	⑱乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内の分かりやすさ	5	4	3	2	1
	⑲乗り継ぎをする際の移動距離	5	4	3	2	1
⑳総合的な満足度		5	4	3	2	1

満足度において「やや不満」または「不満」と回答された項目は、具体的な改善内容をご記入ください。

(目的 帰宅) のため (22) 時台まで運行してほしい。

① () 円にして欲しい。

② () 時台に () 本運行してほしい。

③ (目的) のため () 時台に運行してほしい。

④ (施設名) まで運行してほしい。

⑤

⑥ (施設名) まで距離が遠い。

⑦

⑧

⑨

⑩ (バス停名) に () を設置してほしい。

⑪ (バス停名) に () を整備してほしい。

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰ (瀬戸北線と乗り継いだ交通手段)

⑱ (瀬戸北線と乗り継いだ交通手段)

⑲ (瀬戸北線と乗り継いだ交通手段)

⑳

■瀬戸北線の利用状況についておたずねします。

問 1 1 普段は、どの位の頻度で瀬戸北線を利用されますか。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 平日ほぼ毎日 | 3. 1週間に2～3日程度 |
| 4. 1週間に1日程度 | 5. 月に2～3日程度 | 6. 雨天時のみ |
| 7. その他 () | | |

■瀬戸北線を利用される理由についておたずねします。

問 1 2 瀬戸北線を利用される理由をお答えください。

該当する番号 3 つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. バス停が近い | 2. 運賃の負担が少ない |
| 3. 利用したい時間帯とあっている | 4. 遅延が少ない |
| 5. 目的地へ便利に行ける | 6. 足や体が弱い |
| 7. 自動車を使えない・乗れない | 8. 自転車に乗れない |
| 9. 幼児と一緒に出掛けることができる | |
| 10. 雨や暑い日などでも出掛けることができる | |
| 11. 乗り降りしやすい | 12. 座っていける |
| 13. その他 () | |

■瀬戸北線の利用意向についておたずねします。

問 1 3 瀬戸北線を今後も利用したいですか。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1. 利用したい |
| 2. できれば利用したい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. あまり利用したくない |
| 5. 利用したくない |

■市内基幹バス（名鉄バス）の割引制度についておたずねします。

問14 名鉄バスでは、65歳以上の方に限り利用できる「得々バス」という割引制度を用意しています。65歳以上の方は（a）、65歳未満の方は（b）の設問のうち該当する番号1つに○をつけてください。

（a）65歳以上の方

- | |
|---|
| 1. 「得々バス」を知っていて、利用している |
| 2. 「得々バス」を知っているが、利用していない ※利用しない理由をご記入ください。
理由（ _____ ） |
| 3. 「得々バス」を知らない |

（b）65歳未満の方

- | |
|-----------------|
| 1. 「得々バス」を知っている |
| 2. 「得々バス」を知らない |

■公共交通の費用負担と維持のあり方についておたずねします

問15 現在、市内基幹バス及びコミュニティバスは年間58万人の方が利用しており、バスの運行を継続するため、市は年間約1億3,780万円（市民一人当たり約1,000円）を負担しています。そのうち瀬戸北線では、運行経費の40.9%にあたる4,238万円を市が負担しており、今後利用者数が減少するとさらに負担が増加することになります。今後、バスを運行するための費用負担に対して、あなたの考えに該当する番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき |
| 2. 現在よりも便利にするため、利用者の負担（運賃）を増やすべき |
| 3. 市の負担を現状程度とし、現在の運行を維持すべき |
| 4. 現在よりも運行日数や運行本数を減らし、市の負担を減らすべき |
| 5. 運賃を値上げし、市の負担を減らすべき |

■瀬戸北線に対する考えやアイデア等についておたずねします。

問16 瀬戸北線について、利便性を高めるアイデアなどを自由に記入してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

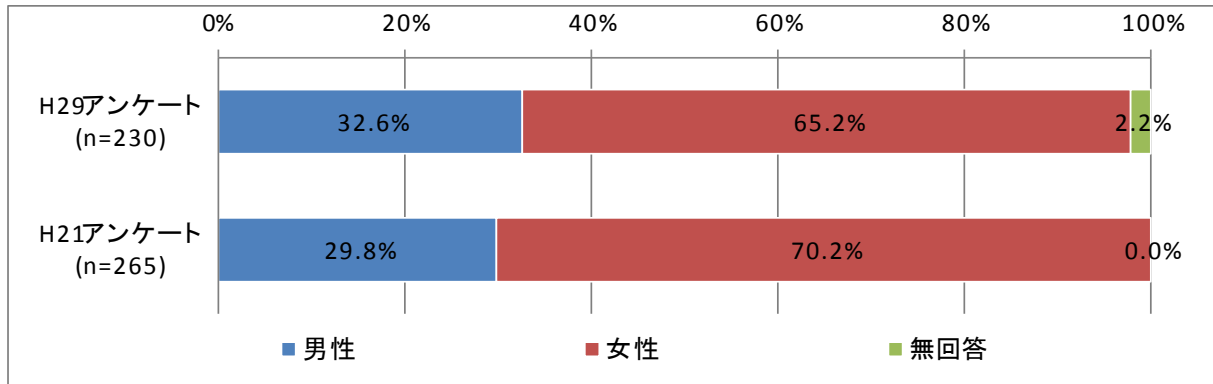
このアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、11月30日(木)までにお近くのポストに投函してください。

2. アンケートの集計結果

2.1 あなた自身のことについて

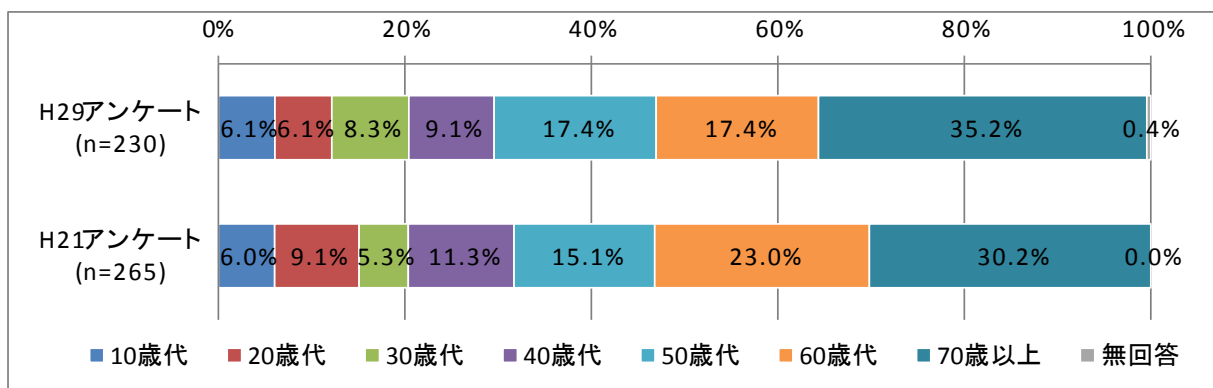
【問1① 性別】

- ・「女性」が約 65%、「男性」が約 33%であり、「女性」が 2/3 を占めている。
- ・平成 21 年度調査結果では、「女性」が約 70%、「男性」が約 30%でほぼ同様の結果であった。



【問1② 年齢】

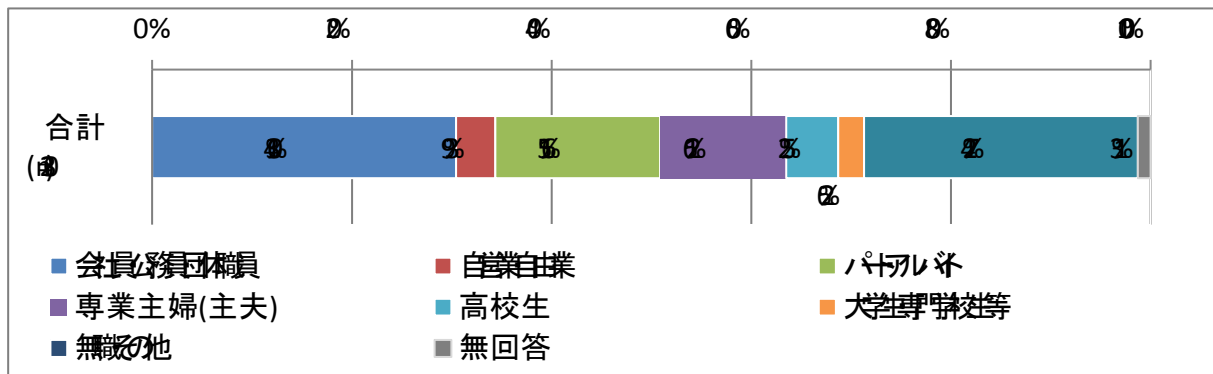
- ・「70歳以上」が約 35%と最も多く、「60歳代」(約 17%) と合わせて約 53%となっており、60歳代以上で半数以上を占めている。
- ・平成 21 年度調査結果と比較すると、「60歳代」が約 23%から約 17%に減少、「70歳以上」が約 30%から約 35%に増加しているが、その他の年代はほぼ同様であった。



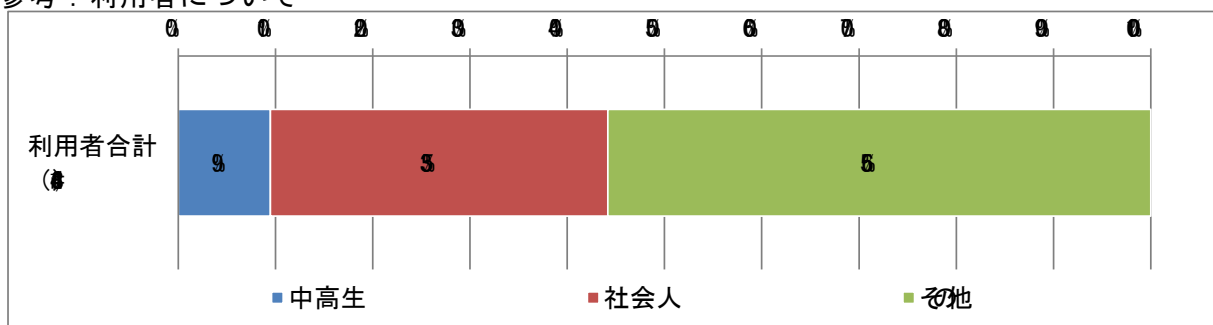
【問1③ 職業】

【問1③ 職業】

・「会社員・公務員・団体職員」が約30%と最も多く、次いで「無職・その他」(約27%)、「パート・アルバイト」(約17%)が多い。



参考：利用者について



※：アンケート調査票配布時に利用者の見た目（年齢・服装等）で、中高生、社会人（会社員等）、その他を分類し集計した。

【問 1 ④居住地】

- ・「瀬戸市五位塚町」が約 13%と最も多く、次いで「瀬戸市品野町 6 丁目」(約 8%)、「瀬戸市窯町」(約 8%)が多い。
- ・連区別では、「下品野」が約 39%と最も多く、次いで「古瀬戸」(約 26%)、「品野」(約 13%)が多い。

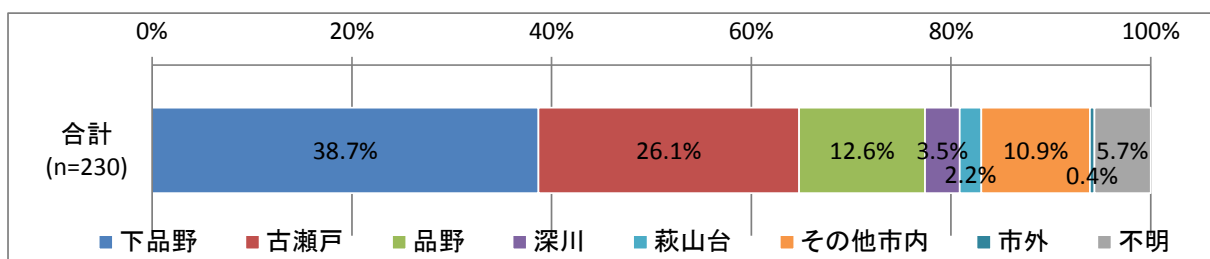
町丁目別集計

住所	回答数	割合
瀬戸市五位塚町	30	13.0%
瀬戸市品野町 6 丁目	18	7.8%
瀬戸市窯町	18	7.8%
瀬戸市上品野町	12	5.2%
瀬戸市品野町 1 丁目	11	4.8%
瀬戸市品野町 3 丁目	11	4.8%
瀬戸市品野町 4 丁目	9	3.9%
瀬戸市紺屋田町	6	2.6%
瀬戸市品野町 5 丁目	6	2.6%
瀬戸市井山町	5	2.2%
瀬戸市中品野町	5	2.2%
瀬戸市東古瀬戸町	5	2.2%
瀬戸市品野町	5	2.2%
瀬戸市品野町 7 丁目	5	2.2%

※上位 14 地区を整理した。

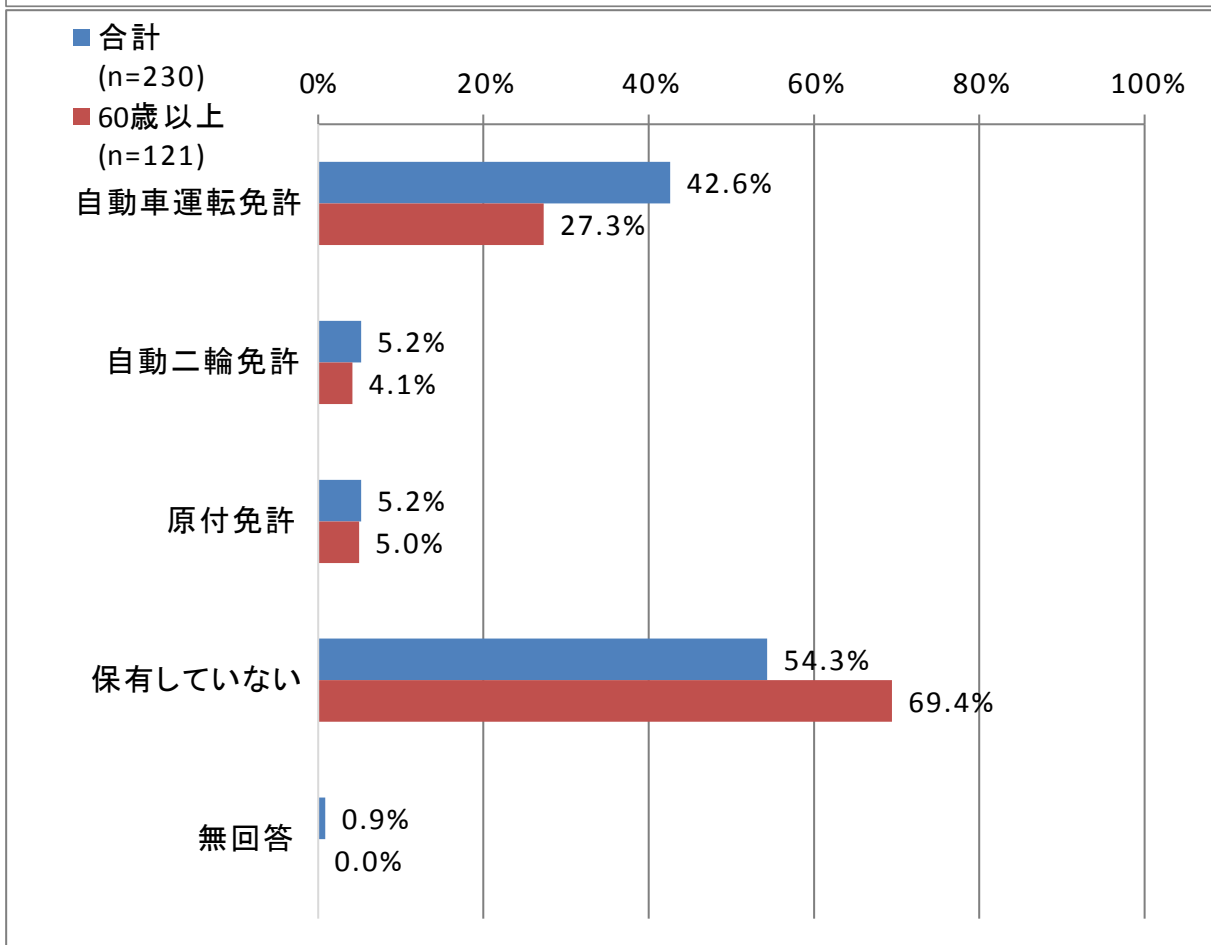
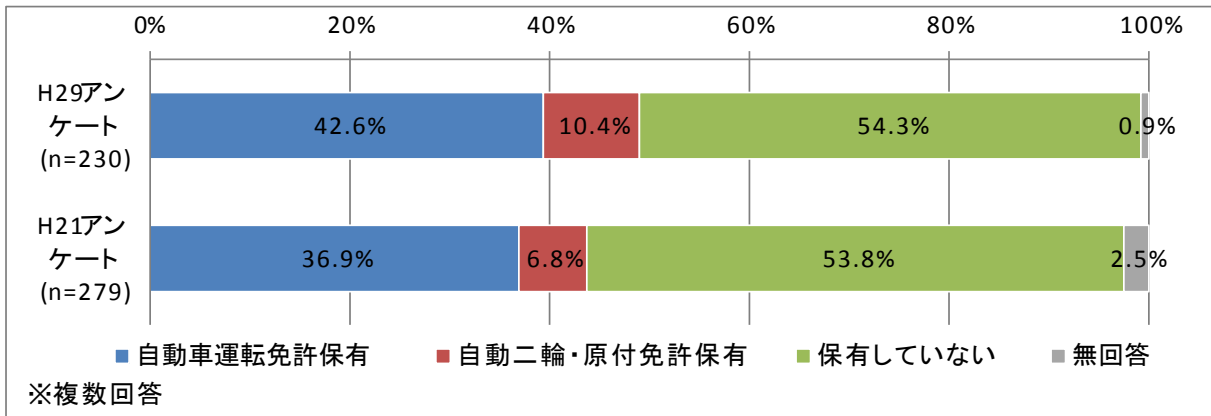
連区別集計

連区名	回答数	割合
下品野	89	38.7%
古瀬戸	60	26.1%
品野	29	12.6%
深川	8	3.5%
萩山台	5	2.2%
水南	4	1.7%
效範	4	1.7%
道泉	4	1.7%
祖母懐	3	1.3%
八幡台	3	1.3%
長根	2	0.9%
陶原	2	0.9%
菱野	1	0.4%
原山台	1	0.4%
水野	1	0.4%
市外	1	0.4%
不明	13	5.7%



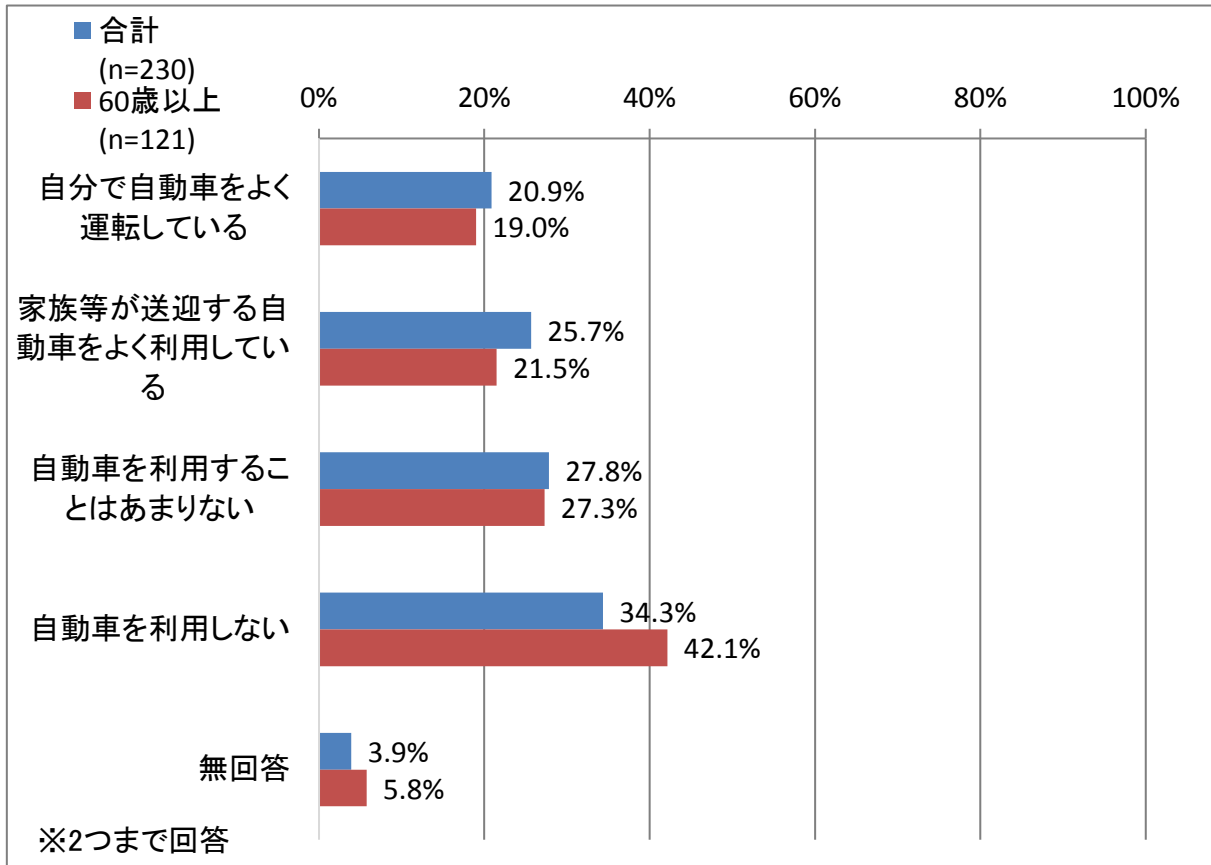
【問1 ⑤運転免許の保有状況】

- ・全体では、「保有していない」が約54%、「自動車運転免許保有」が約43%となっている。
- ・60歳以上では、「保有していない」が約69%、「自動車運転免許保有」が約27%となっている。



【問1 ⑥自動車の利用状況】

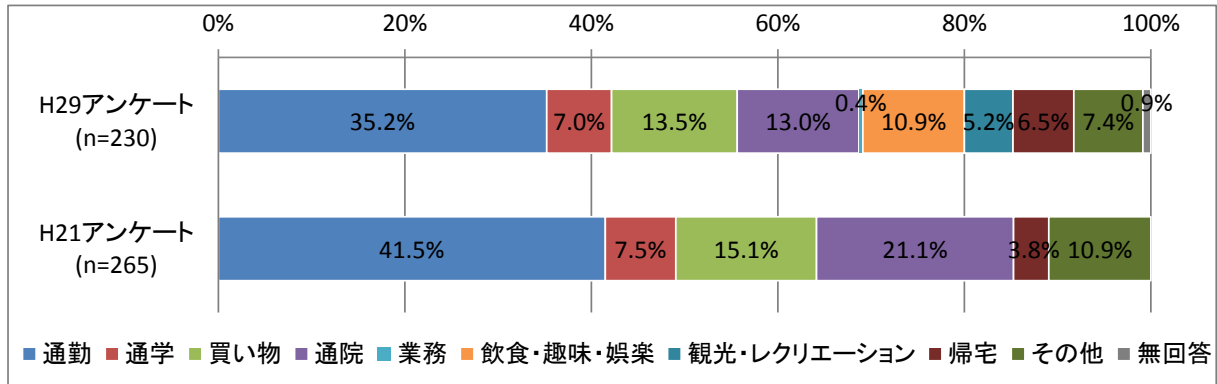
- ・全体では「自動車を利用しない」が約34%、「自動車を利用することはあまりない」が約28%となっている。
- ・60歳以上では「自動車を利用しない」が約42%、「自動車を利用することはあまりない」が約27%となっている。



2.2 瀬戸北線の利用について

【問2 瀬戸北線の利用目的】

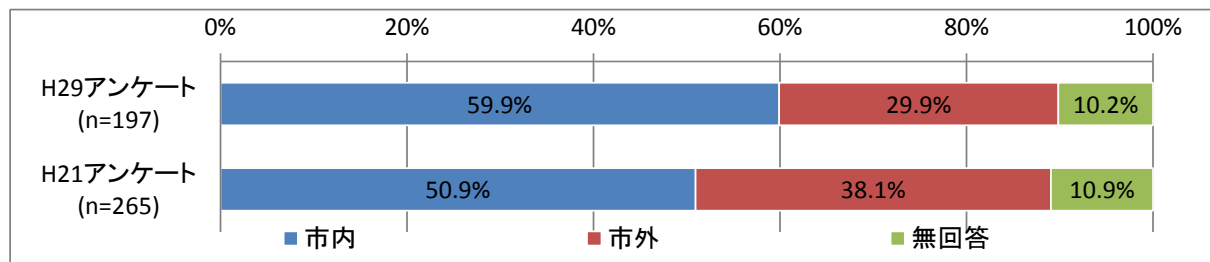
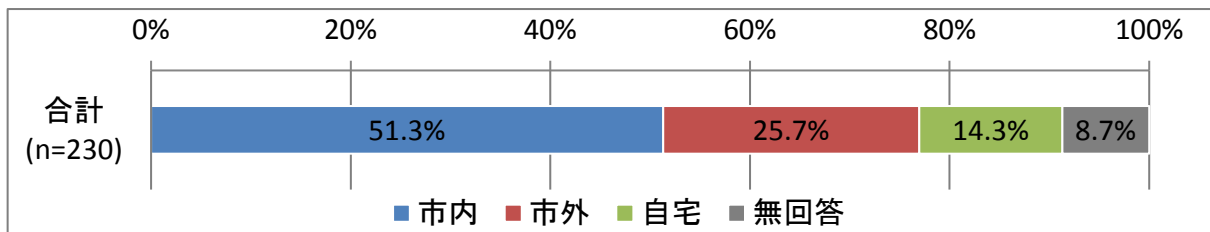
- ・「通勤」が約35%と最も多く、次いで「買い物」（約14%）、「通院」（約13%）が多い。
- ・平成21年度調査結果と比較すると、「通勤」は約42%から約35%に減少、「通院」は約21%から約13%に減少している。



※：「H21 アンケート」では、「業務」、「飲食・趣味・娯楽」、「観光・レクリエーション」等は選択肢にないため、「通勤」「買い物」等に含まれていると思われる。

【問3 目的地】

- ・「市内」が約51%、「市外」が約26%、「自宅」が約14%となっている。
- ・市内の目的地は病院・医院関係が約29%で最も多く、次いで買い物（商業施設等）（約23%）、駅（約21%）となった。
- ・具体的な目的地として「尾張瀬戸駅」が約14%と最も多く、次いで「陶生病院」（約13%）、「アピタ瀬戸店」（約11%）が多くなっている。
- ・市外では「会社」が約17%と最も多く、次いで「名古屋駅」（約5%）が多い。
- ・平成21年度調査結果と比較すると、「市内」が約51%から約60%に増加、「市外」が約38%から約30%に減少している。



※：H29 アンケート調査結果より、目的地が「自宅」の回答を除いて集計し、比較した。

<目的地（市内）>

目的地	回答数	割合
尾張瀬戸駅	16	14.3%
陶生病院	15	13.4%
アピタ瀬戸店	12	10.7%
岩屋堂	5	4.5%
パルティセと(カーブス パルティセと)	5(3)	4.5%(2.7%)
アクトス	3	2.7%
パロー新瀬戸店	3	2.7%
あさいクリニック	2	1.8%
こだま耳鼻科	2	1.8%
ナフコ	2	1.8%
パロー	2	1.8%
松本眼科	2	1.8%
新瀬戸駅	2	1.8%
瀬戸駅	2	1.8%
特別養護老人ホーム樹の里	2	1.8%
病院	2	1.8%

※回答数が2以上の目的地を抜粋した。全リストは資料編に示す。

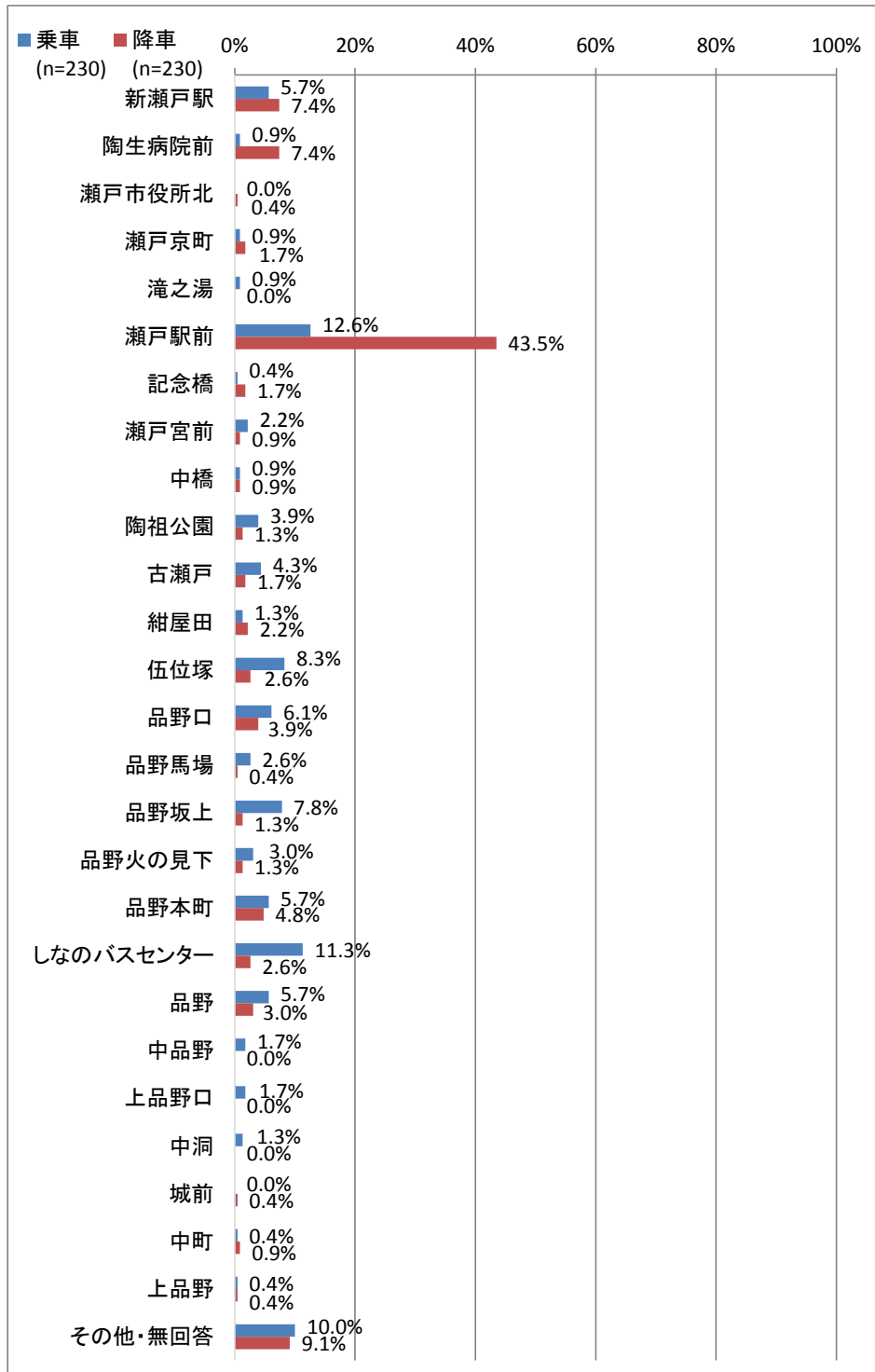
<目的地（市外）>

目的地	回答数	割合
会社	11	16.9%
名古屋駅	3	4.6%
栄	2	3.1%
県立旭野高校	2	3.1%
高校	2	3.1%
大学	2	3.1%
大曽根駅	2	3.1%
中日新聞社	2	3.1%
名古屋	2	3.1%

※回答数が2以上の目的地を抜粋した。

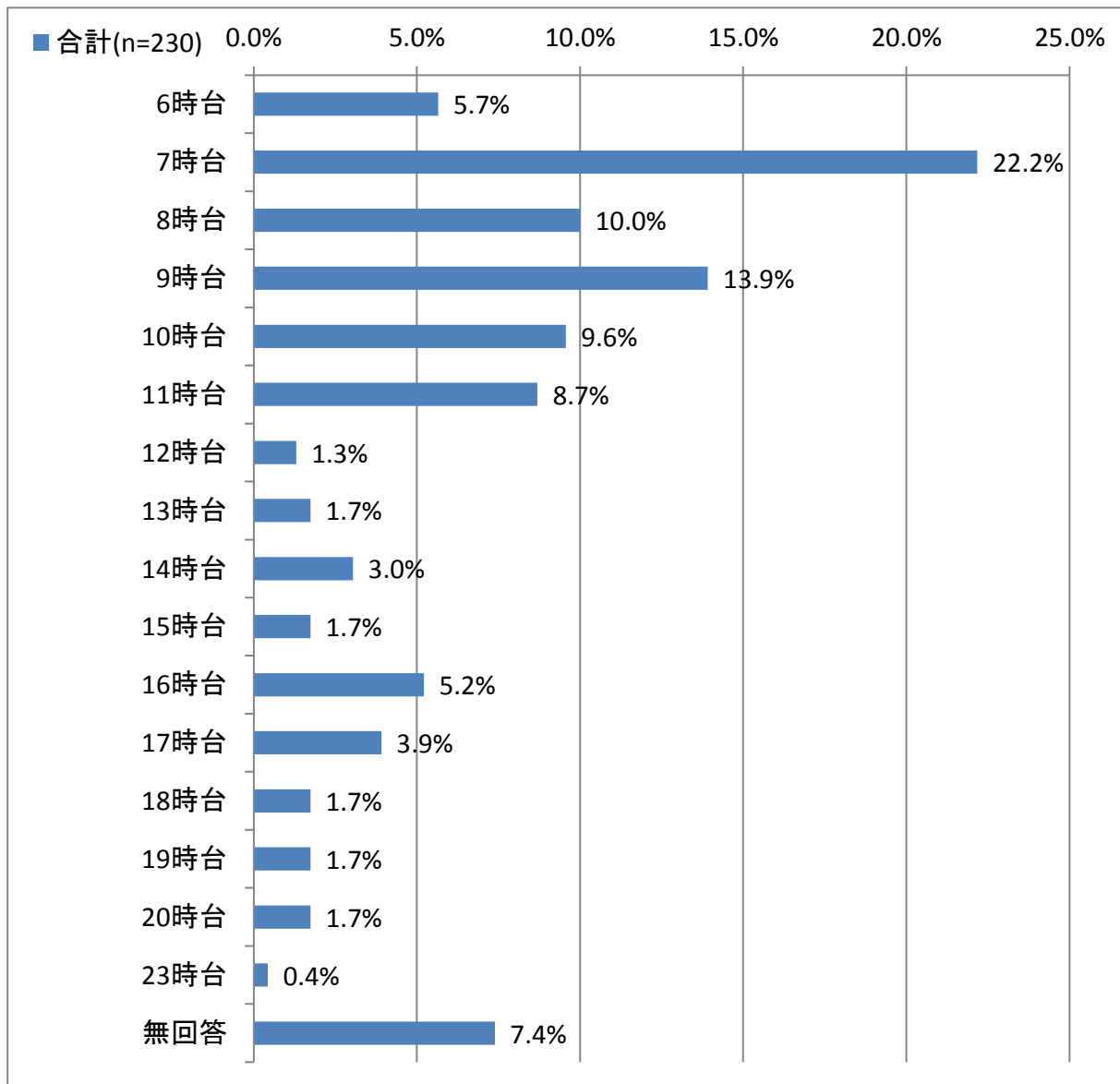
【問4 ①乗車バス停・降車バス停】

- ・乗車バス停では、「瀬戸駅前」が約13%で最も多く、次いで「しなのバスセンター」(約11%)、伍位塚(約8%)が多い。
- ・降車バス停では、「瀬戸駅前」が約44%で最も多く、次いで「新瀬戸駅」(約7%)、「陶生病院前」(約7%)が多い。



【問 4 ②乗車した時間帯】

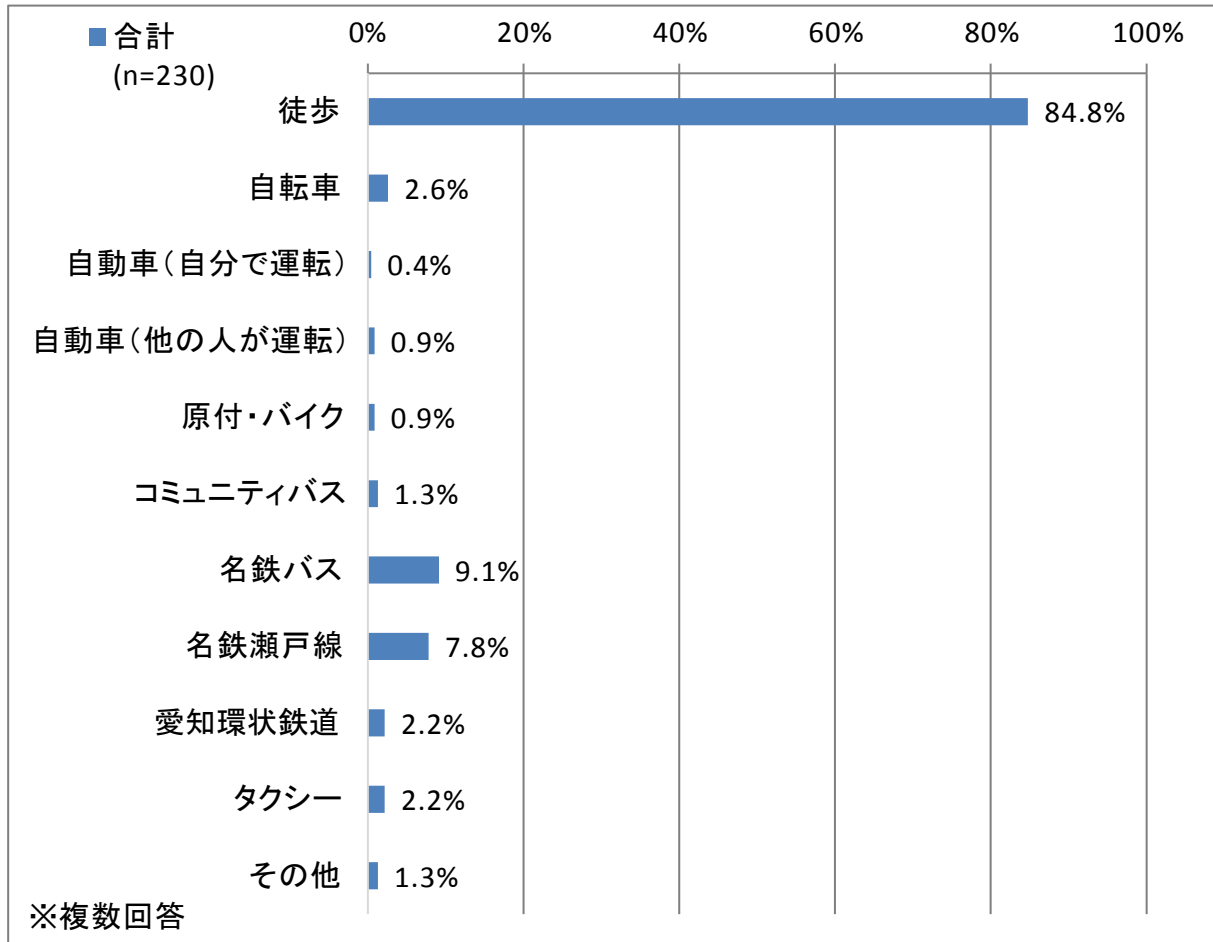
- ・乗車時間は「7時台」が約22%と最も多く、次いで「9時台」（約14%）が多い。
- ・午後の乗車数が最も多い時間帯は「16時台」（約5%）となっている。



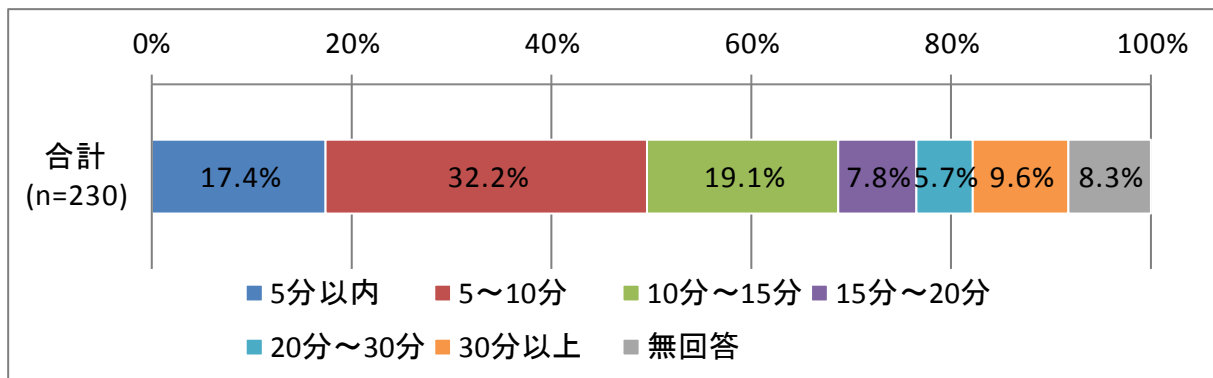
【問5 乗車したバス停までの移動手段・移動時間】

- ・乗車したバス停までの移動手段は、「徒歩」が約 85%で最も多く、次いで「名鉄バス」(約 9%)、「名鉄瀬戸線」(約 8%)が多い。
- ・乗車したバス停までの移動時間は、「5分～10分」が約 32%で最も多く、次いで「10分～15分」(約 19%)、「5分以内」(約 17%)が多い。

【問5 ①乗車したバス停までの移動手段】



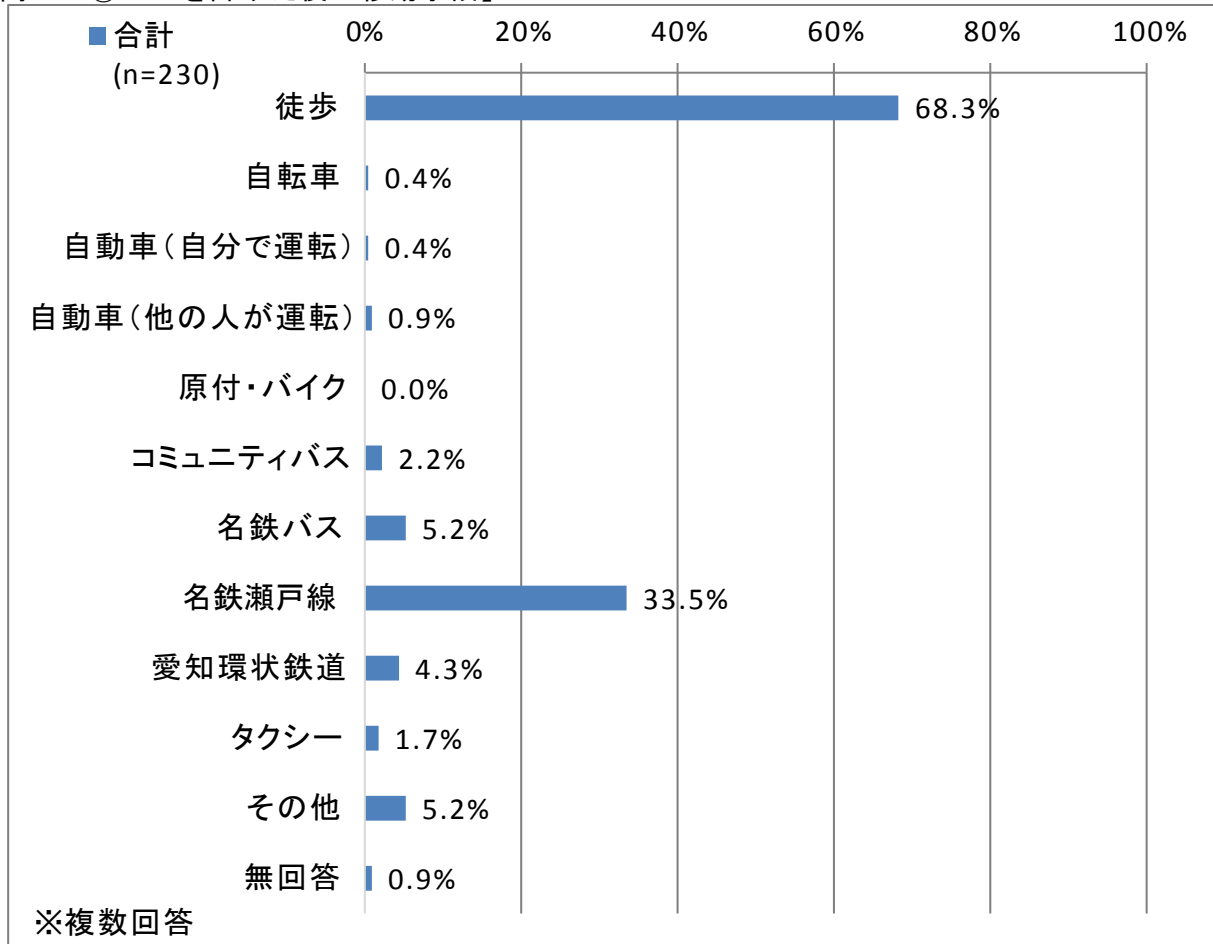
【問5 ②乗車したバス停までの移動時間】



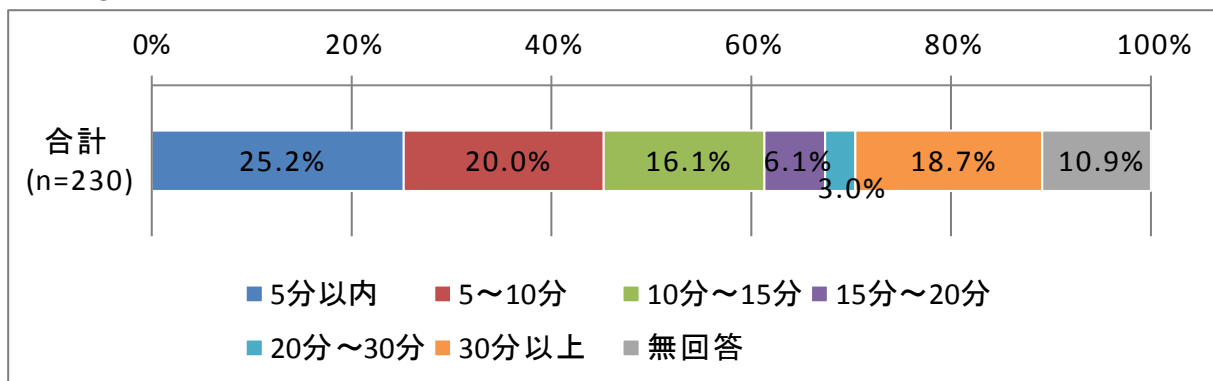
【問6 バスを降りた後の移動手段・移動時間】

- ・バスを降りた後の移動手段は、「徒歩」が約68%で最も多く、次いで「名鉄瀬戸線」(約34%)、「名鉄バス」(約5%)が多い。
- ・バスを降りた後の移動時間は、「5分以内」が約25%で最も多く、次いで「5分～10分」(約20%)、「30分以上」(約19%)が多い。

【問6 ①バスを降りた後の移動手段】

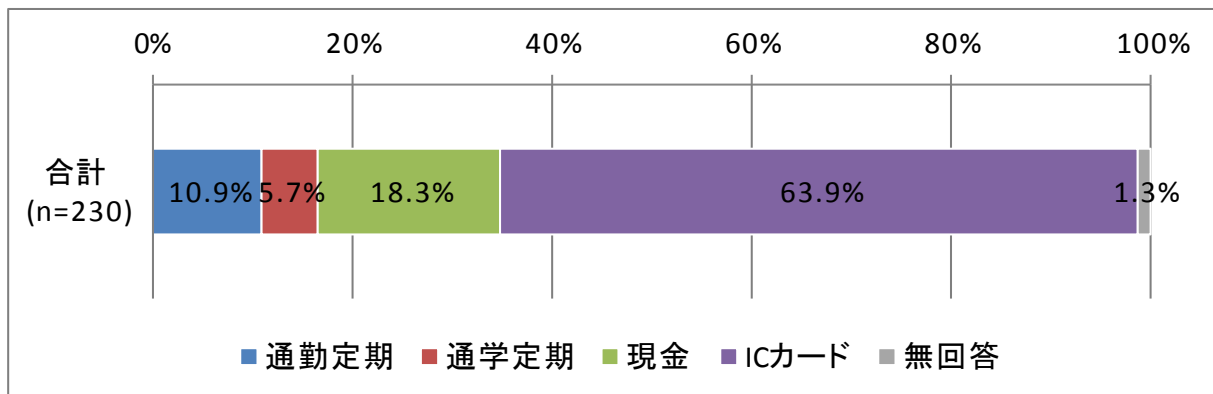


【問6 ②バスを降りた後の移動時間】



【問7 運賃の支払い方法】

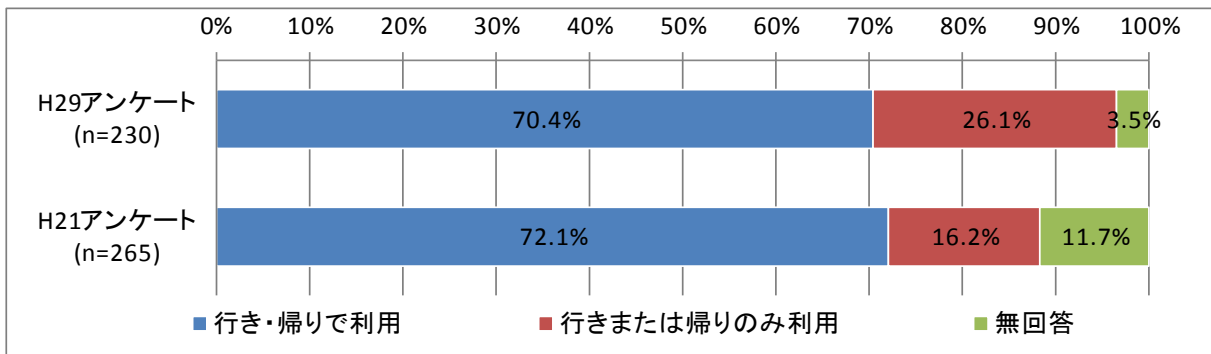
・「ICカード」が約64%で最も多く、次いで「現金」(約18%)、「通勤定期」(約11%)が多い。



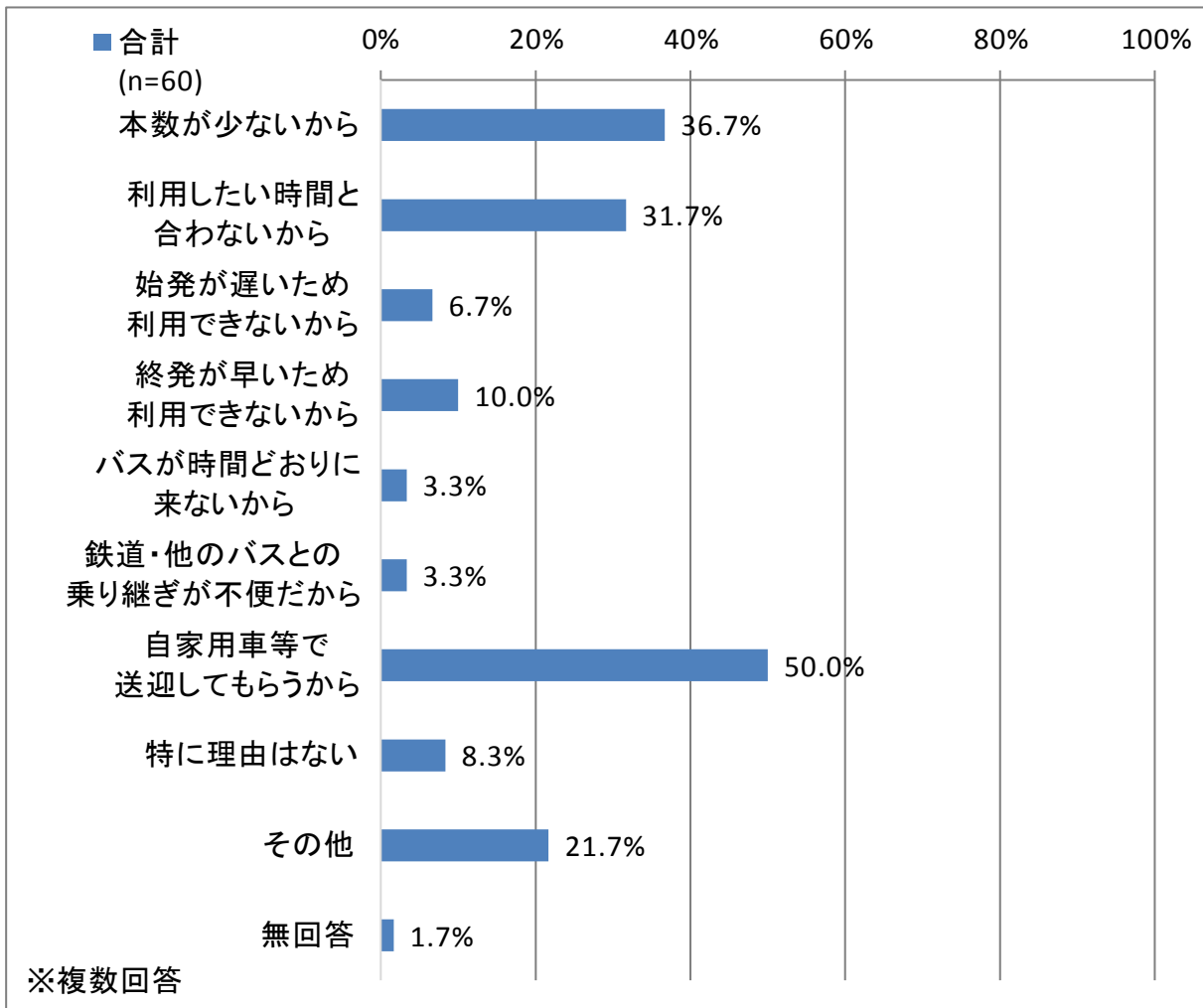
【問 8 「行き」と「帰り」の往復での利用状況等】

- ・「行き・帰りで利用」が約 70%、「行きまたは帰りのみ利用」が約 26%となっている。
- ・行きと帰りのどちらかしかバスを利用しなかった理由では、「自家用車等で送迎してもらいから」が約 50%で最も多く、次いで「本数が少ないから」（約 37%）、「利用したい時間と合わないから」（約 32%）が多い。
- ・平成 21 年度調査結果と比較すると、「行きまたは帰りのみ利用」が約 16%から約 26%に増加している。

【問 8 ① 「行き」と「帰り」の往復での利用状況】

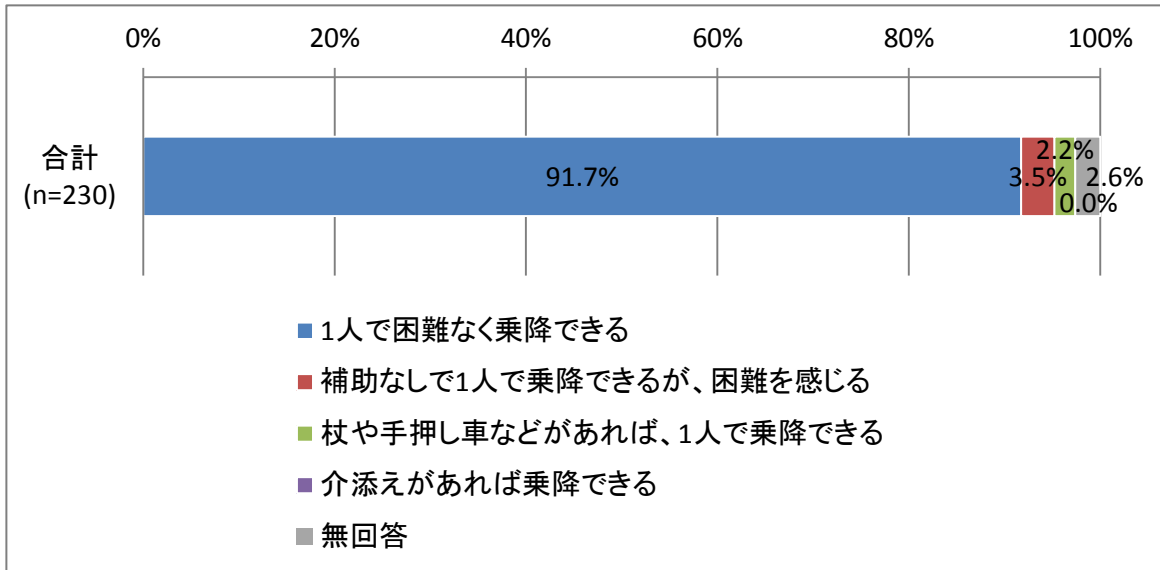


【問 8 ② 「行き」と「帰り」のどちらかしかバスを利用しなかった理由】



【問9 バスを乗降されるとき状況】

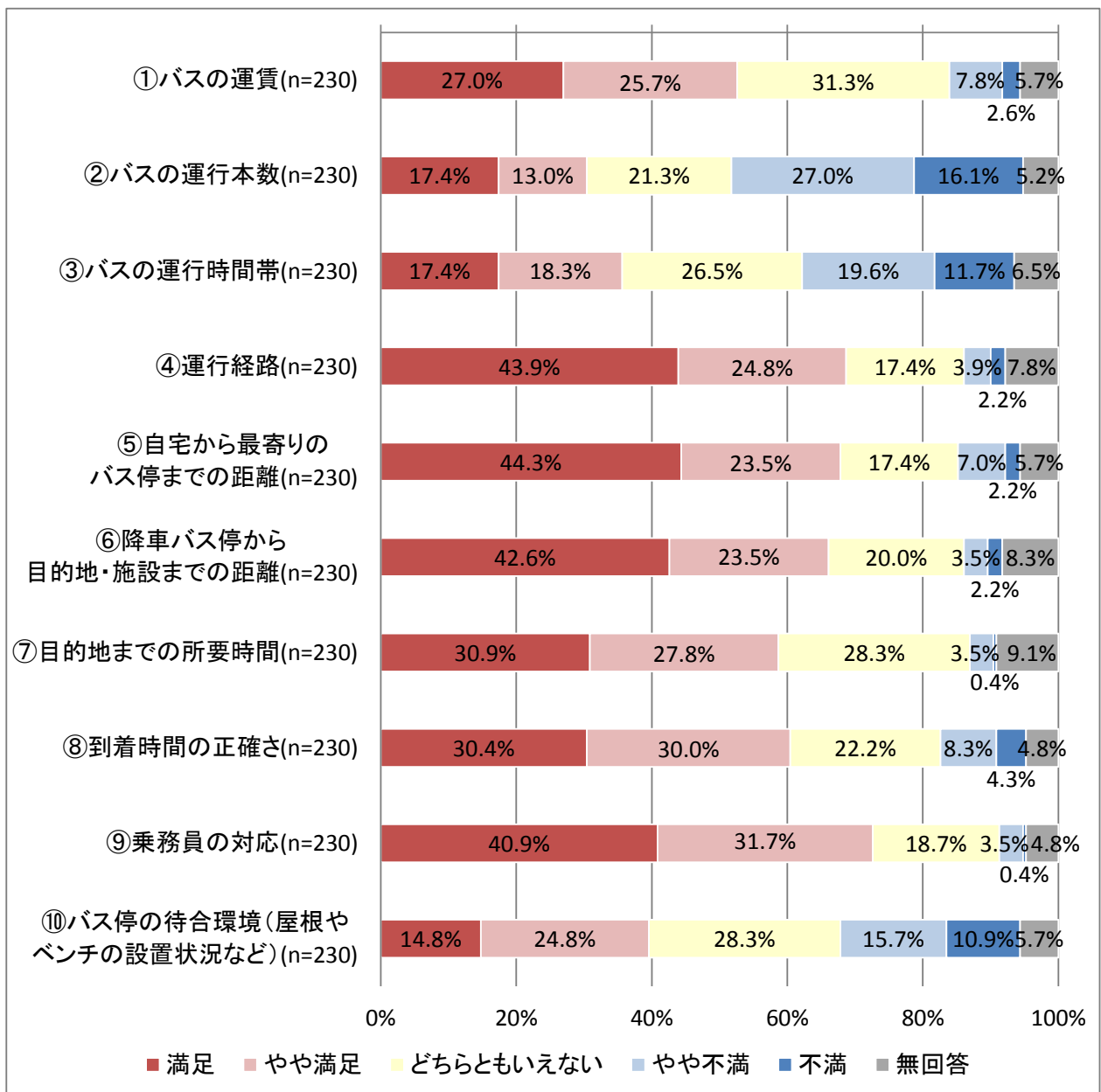
・「1人で困難なく乗降できる」が約92%で最も多いが、「補助なしで1人で乗降できるが、困難を感じる」(約4%)、「杖や手押し車などがあれば、1人で乗降できる」(約2%)方もいる。

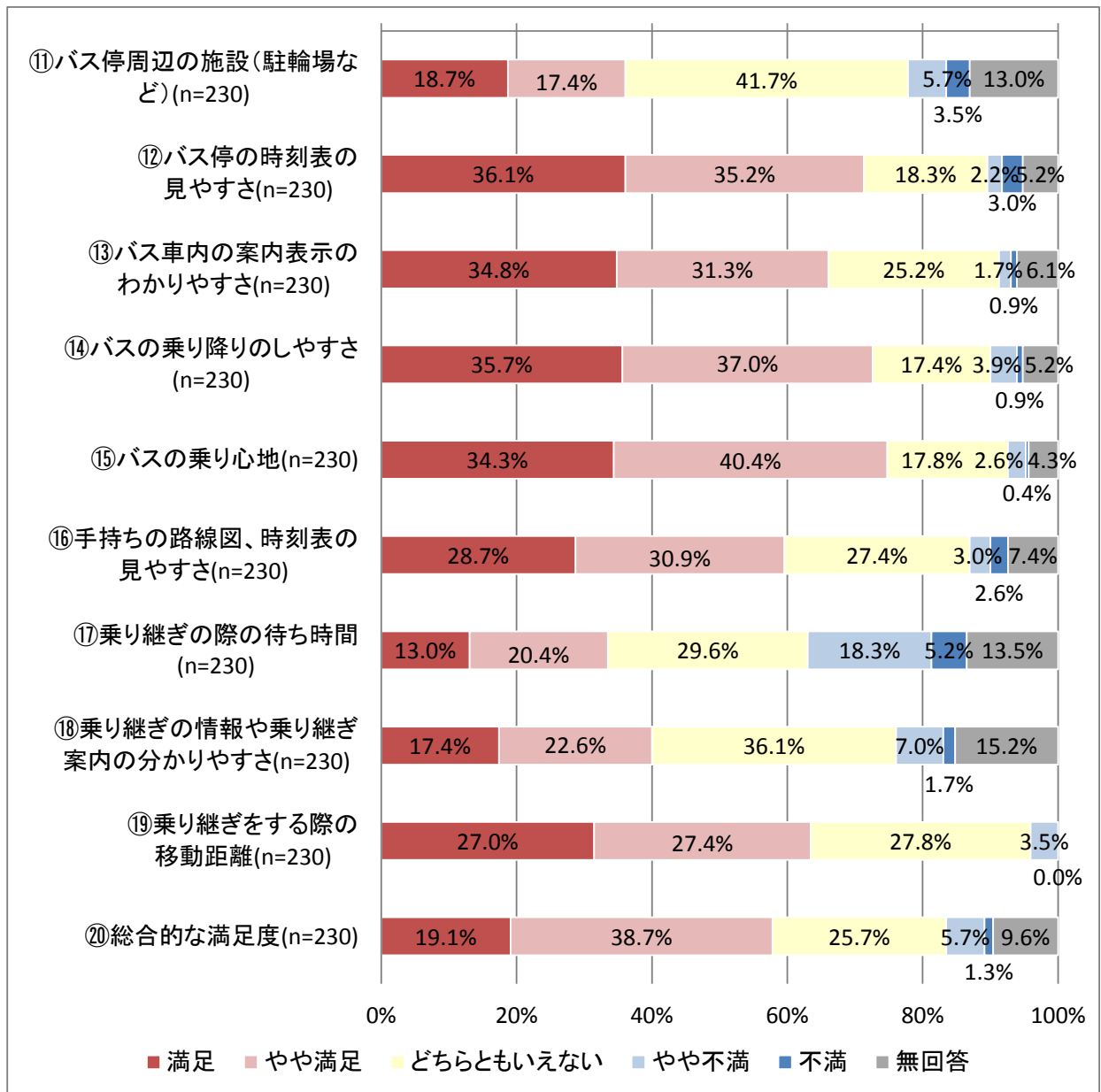


2.3 瀬戸北線の満足度

- ・満足度が高い項目（満足+やや満足）は、「⑮バスの乗り心地」（約 75%）、「⑨乗務員の対応」（約 73%）、「⑭バスの乗り降りのしやすさ」（約 73%）となっている。
- ・満足度が低い項目（やや不満+不満）は、「②バスの運行本数」（約 43%）、「③バスの運行時間帯」（約 31%）、「⑩バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況など）」（約 27%）となっている。
- ・以上より、バスの運行本数、運行時間帯、乗り継ぎの待ち時間といった運行に関する事項については不満があるものの、バス自体の乗り心地や乗車環境、乗務員の対応などについては不満が少ないという傾向がわかる。
- ・総合的な満足度は、満足（満足+やや満足）が約 58%、不満（やや不満+不満）が約 7%となっている。

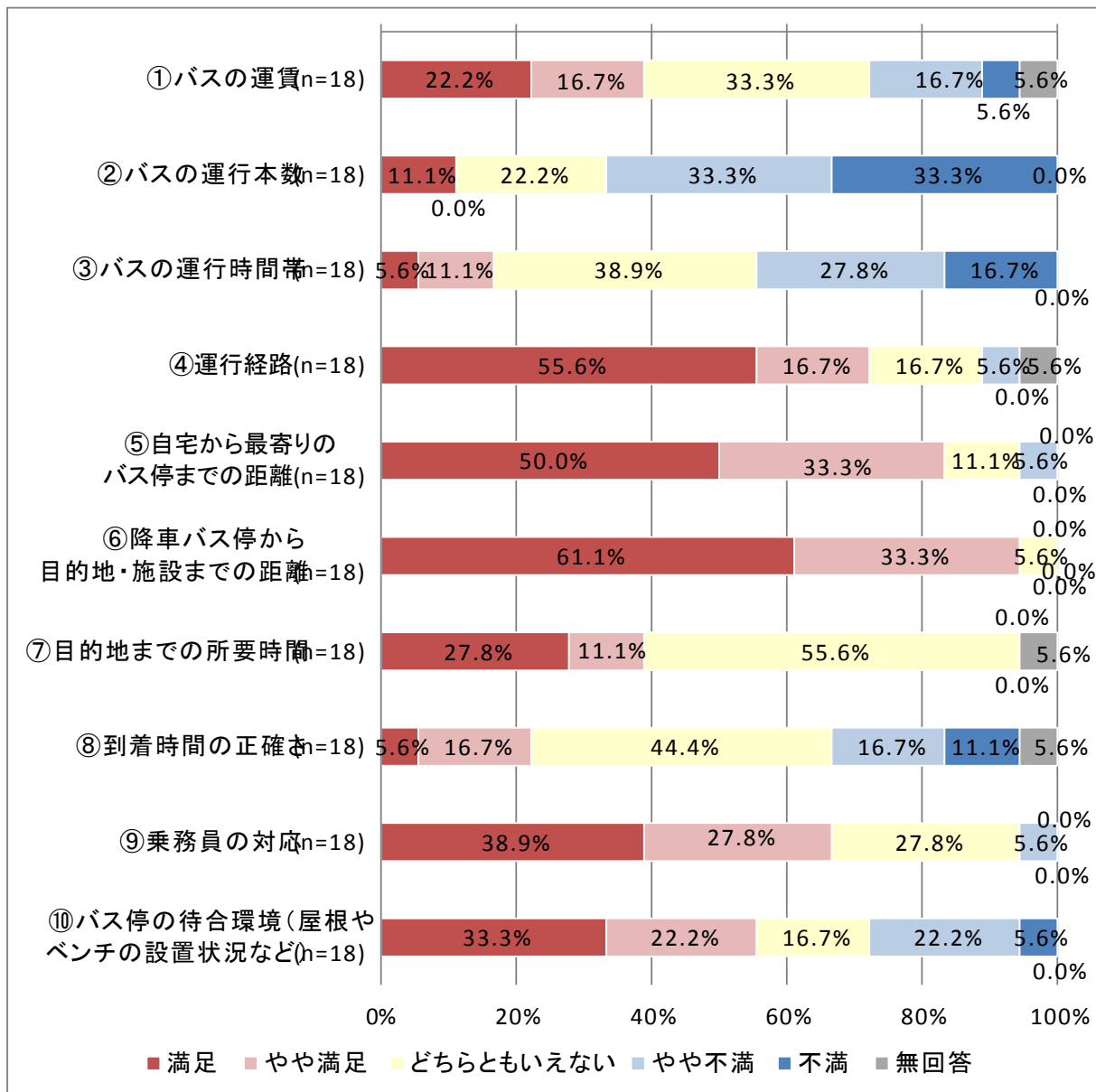
【問10 満足度】

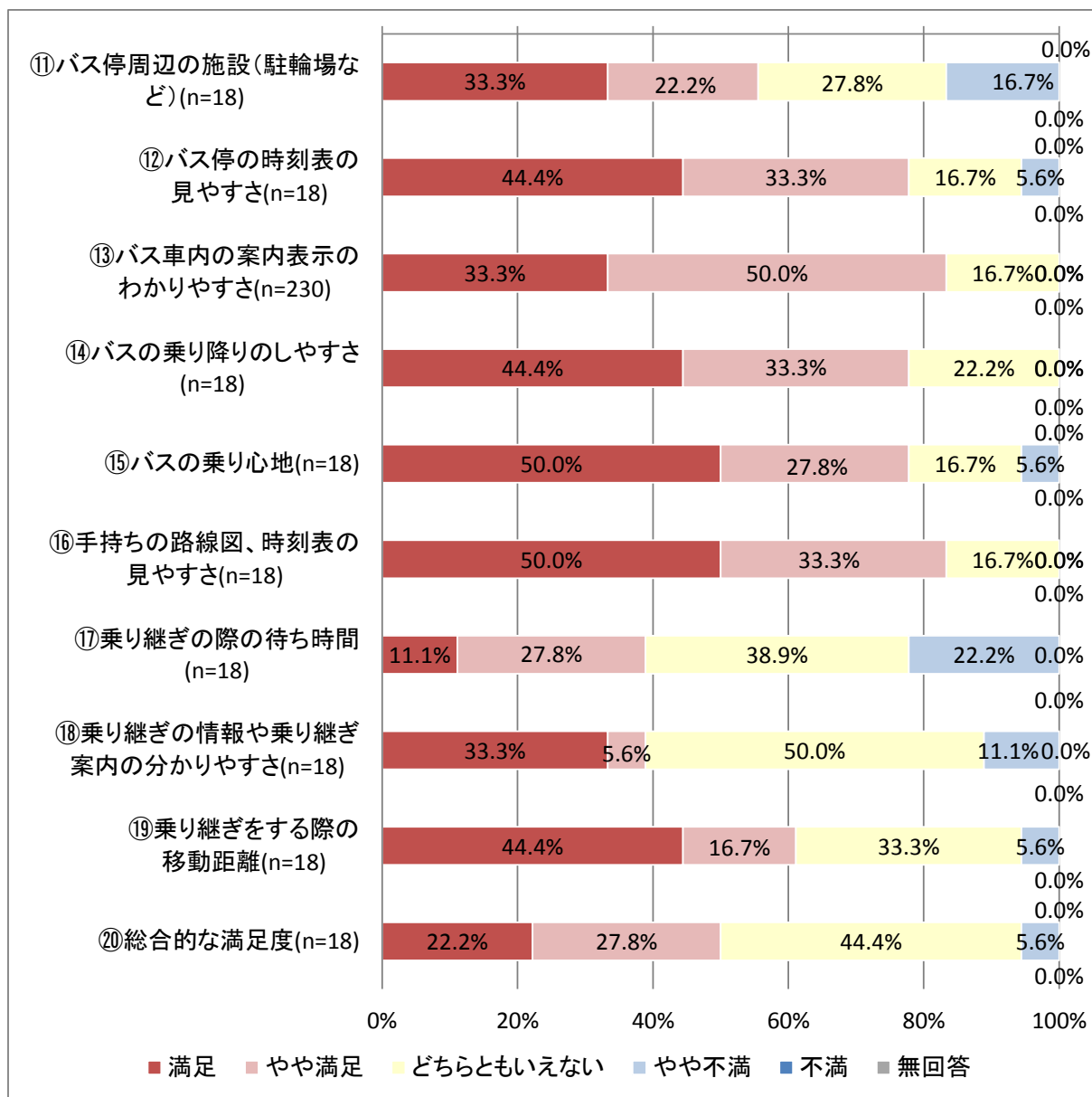




【問10 瀬戸北線の満足度】（学生（高校生、大学生・専門学校生等での集計））

- ・満足度が高い項目（満足+やや満足）は、「⑥降車バス停から目的地・施設までの距離」（約 94%）、「⑤自宅から最寄りのバス停までの距離」（約 83%）、「⑬バス車内の案内表示のわかりやすさ」（約 83%）、「⑯手持ちの路線図、時刻表の見やすさ」（約 83%）となっている。
- ・満足度が低い項目（やや不満+不満）は、「②バスの運行本数」（約 67%）、「③バスの運行時間帯」（約 45%）、「⑧到着時間の正確さ」（約 28%）、「⑩バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況など）」（約 28%）となっている。
- ・総合的な満足度は、満足（満足+やや満足）が約 50%、不満（やや不満+不満）が約 6%となっており、全体と比較すると満足がやや少なくなっている。

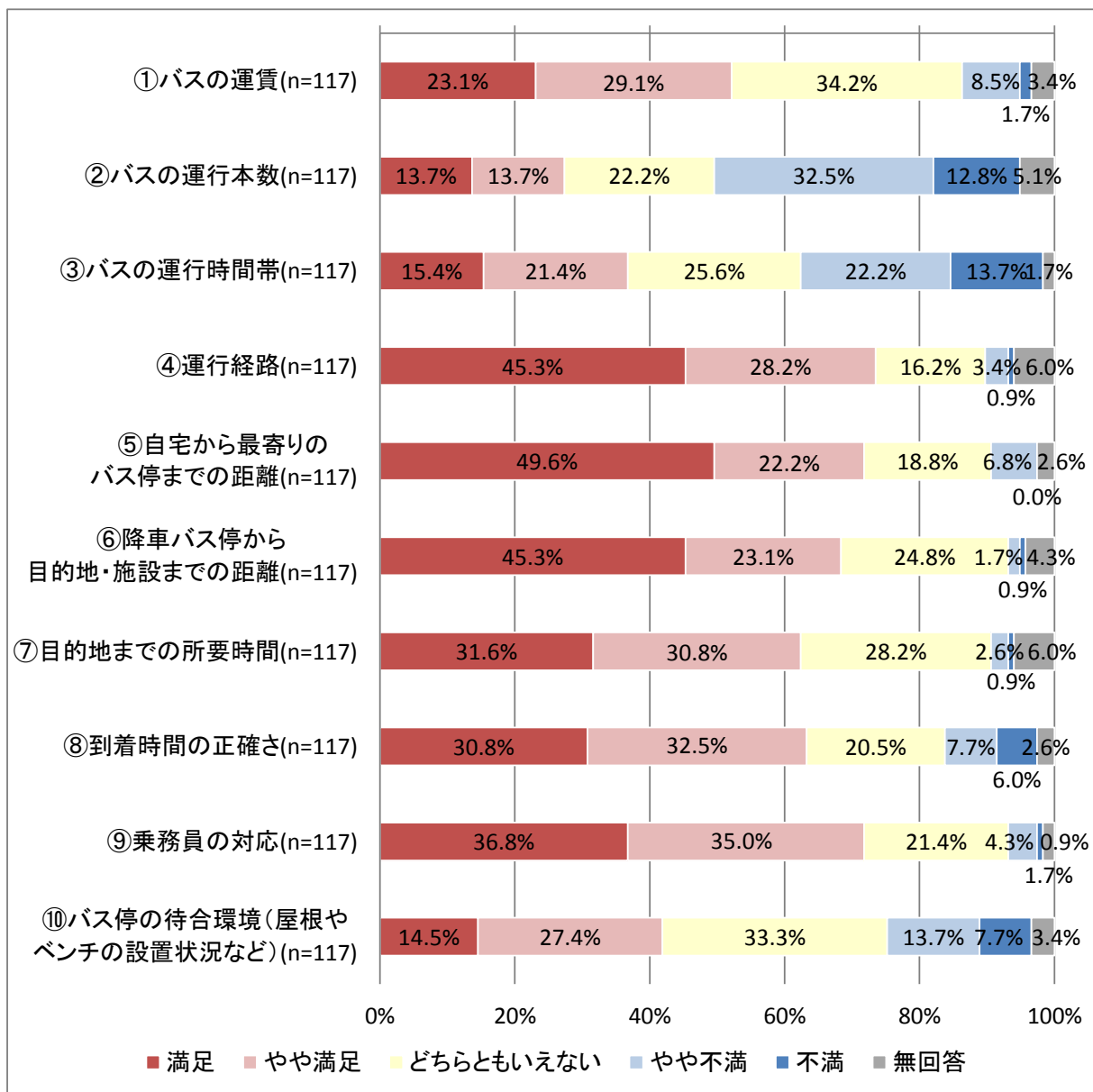


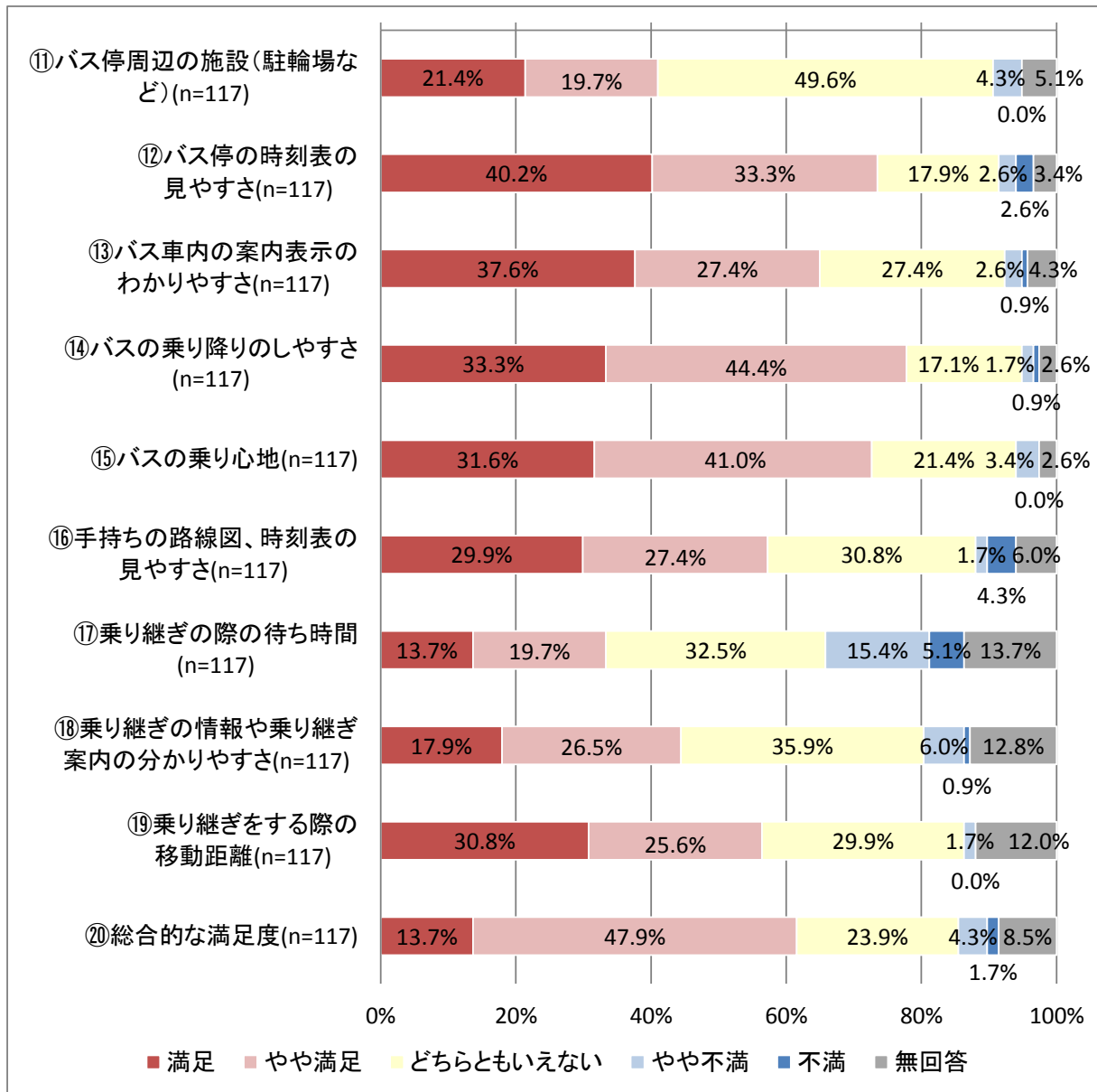


【問10 瀬戸北線の満足度】

(社会人(会社員・公務員・団体職員、自営業・自由業、パート・アルバイト)での集計)

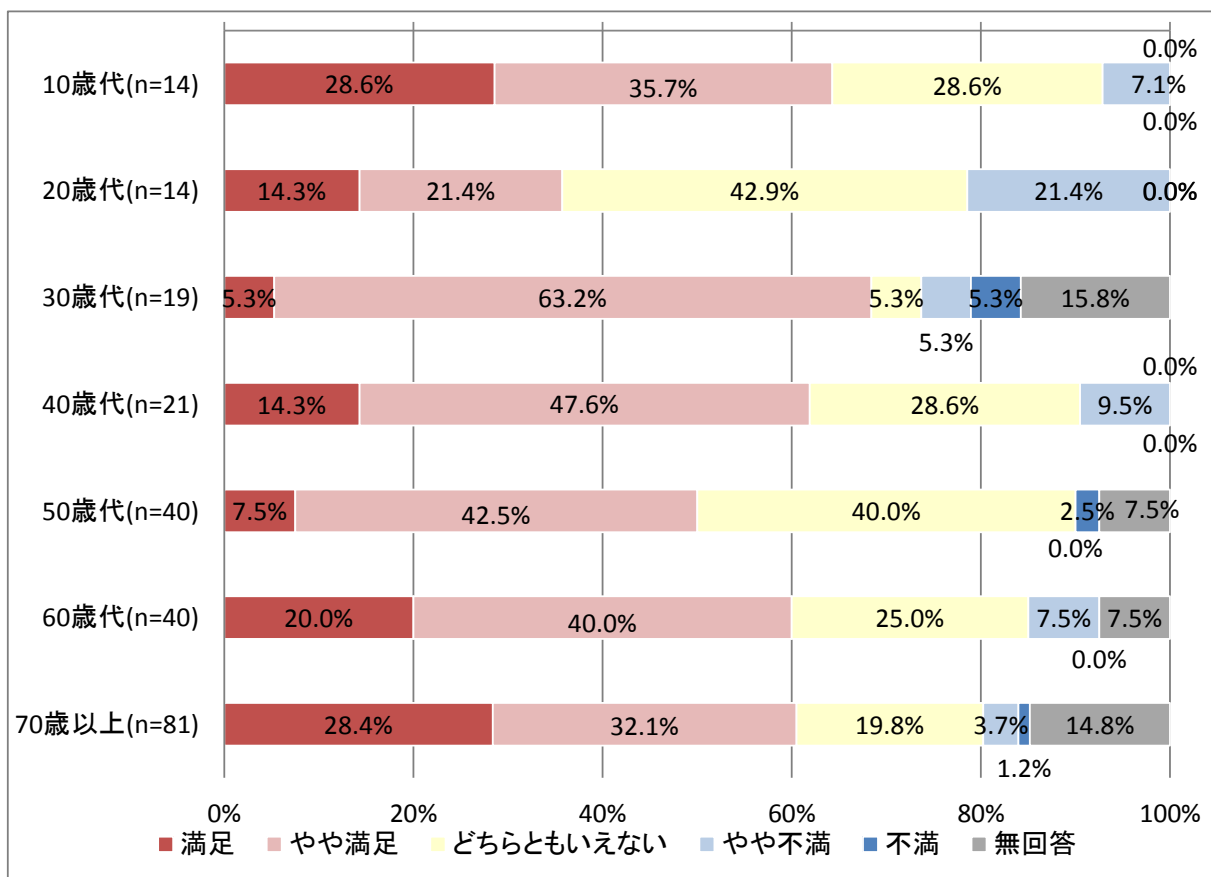
- ・満足度が高い項目(満足+やや満足)は、「⑭バスの乗り降りのしやすさ」(約78%)、「④運行経路」(約74%)、「⑫バス停の時刻表の見やすさ」(約74%)となっている。
- ・満足度が低い項目(やや不満+不満)は、「②バスの運行本数」(約45%)、「③バスの運行時間帯」(約36%)、「⑩バス停の待合環境(屋根やベンチの設置状況など)」(約21%)となっている。
- ・総合的な満足度は、満足(満足+やや満足)が約62%、不満(やや不満+不満)が約6%となっており、全体と比較すると満足がやや多くなっている。





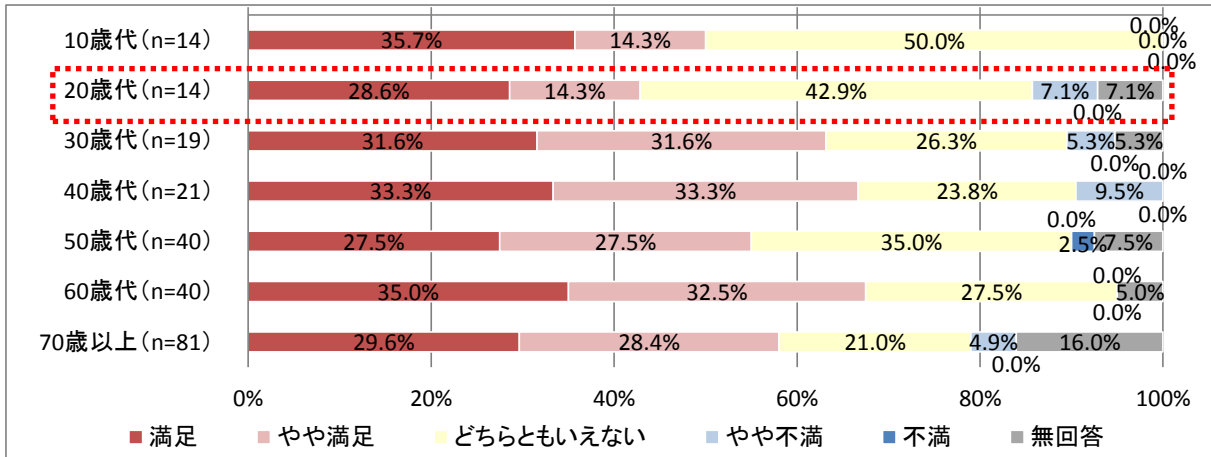
【問 10⑳ 総合的な満足度】（年代別集計）

- ・満足している割合（満足+やや満足）は、「10 歳代」（約 64%）、「30 歳代」（約 69%）、「40 歳代」（約 62%）、「50 歳代」（約 50%）、「60 歳代」（約 60%）、「70 歳代以上」（約 61%）で 50%を超えている。
- 一方で、「20 歳代」（約 36%）は 50%を下回っており、他の年代に比べて満足度が低い結果となっている。
- ・他の年代に比べて 20 歳代の満足度が低い項目をみると、「問 10⑦ 目的地までの所要時間」（約 43%）、「問 10⑨ 乗り継ぎをする際の移動距離」（約 36%）があげられる。また、「問 6 ②バスを降りた後の移動時間」では、30 分以上と回答した割合が 20 歳代は約 43%であり、他の年代と比べて割合が高い結果となった。

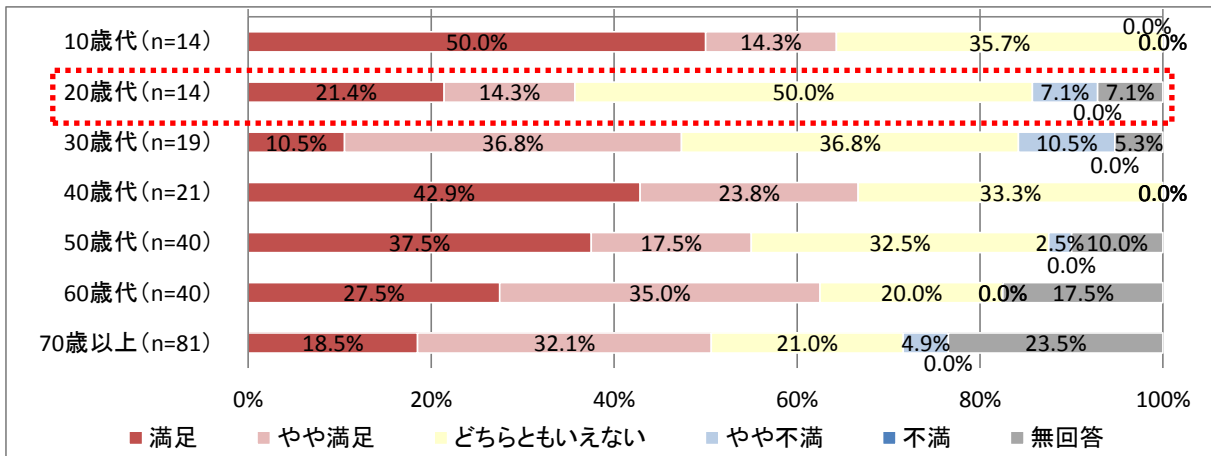


参考

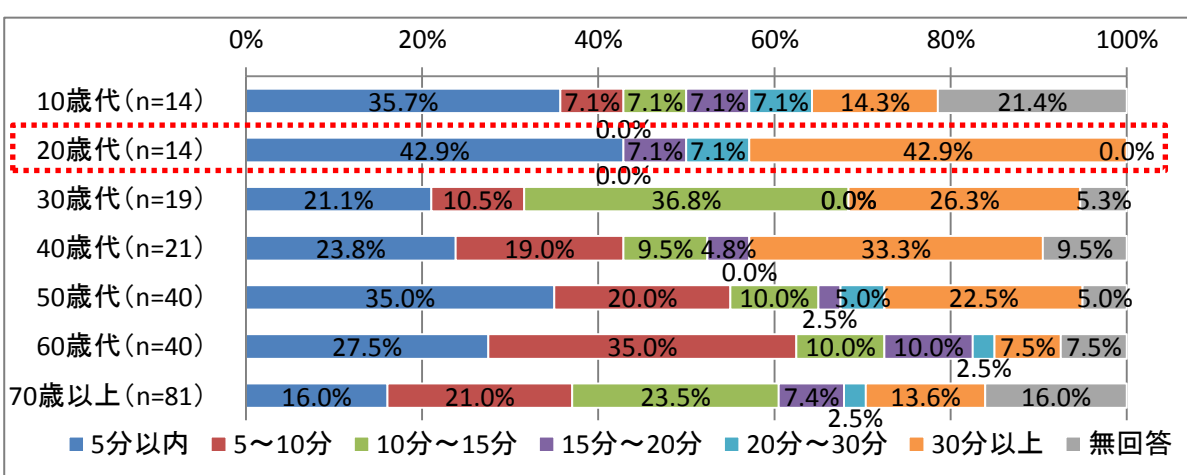
【問 10⑦】 目的地までの所要時間】（年代別集計）



【問 10⑨】 乗り継ぎをする際の移動距離】（年代別集計）

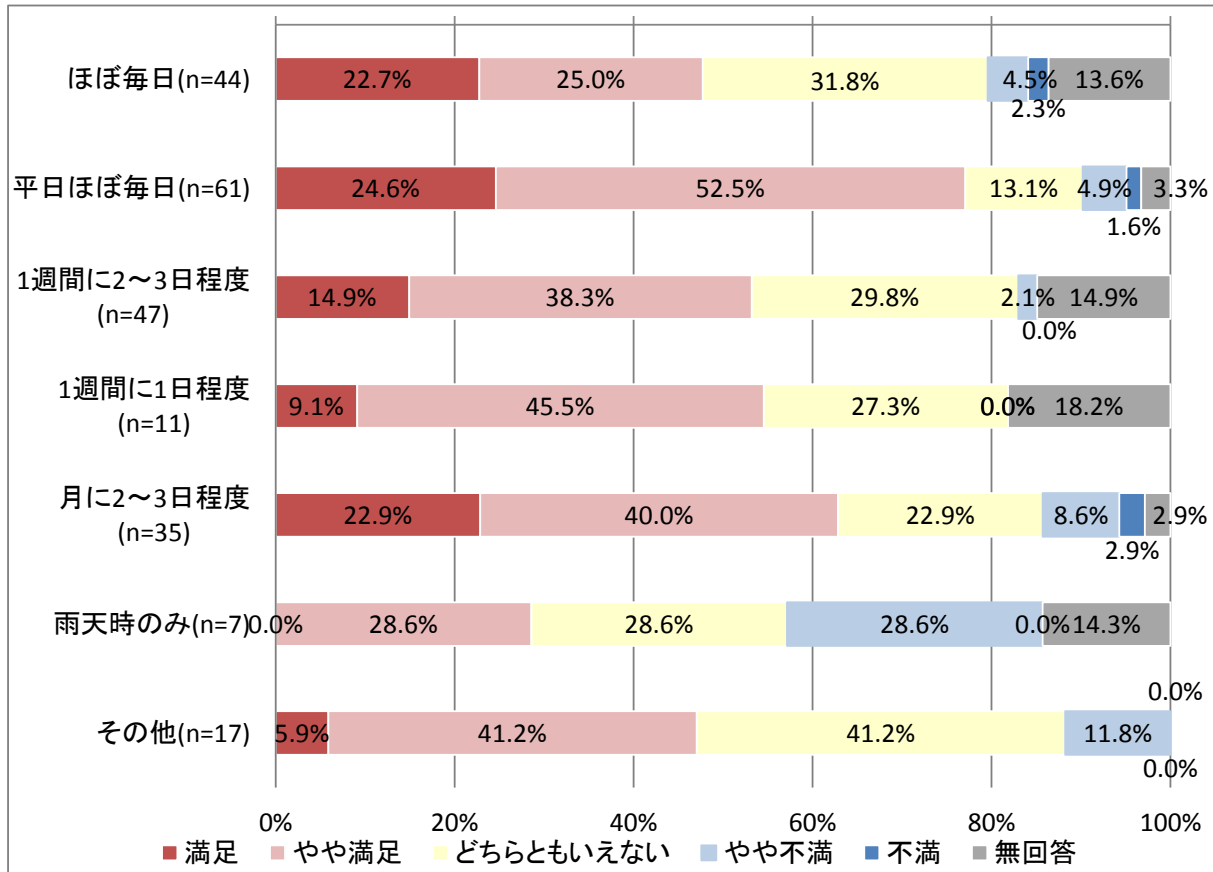


【問 6 ②】 バスを降りた後の移動時間】（年代別集計）



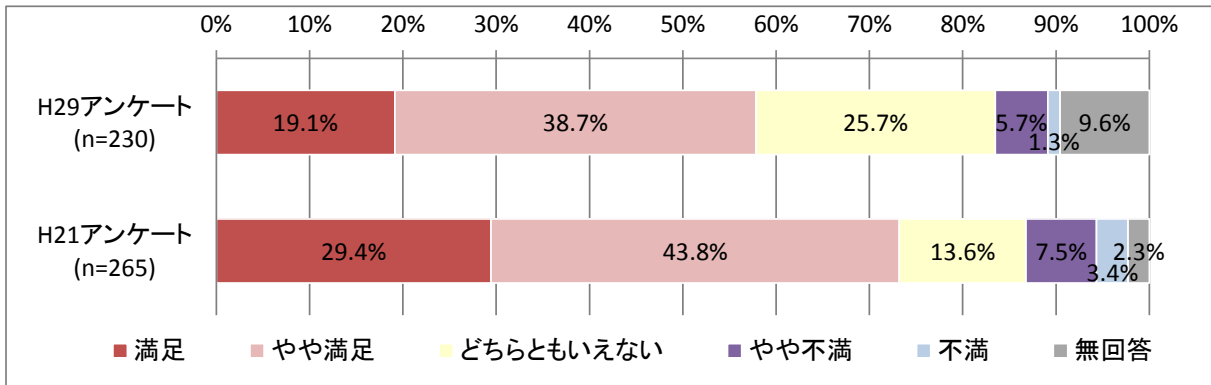
【問10⑳ 総合的な満足度】（利用頻度別集計）

・満足している割合（満足+やや満足）は、「ほぼ毎日」（約48%）、「平日ほぼ毎日」（約77%）、「1週間に2～3日程度」（約53%）、「1週間に1日程度」（約55%）、「月に2～3日程度」（約63%）で50%を超えている。
 一方で、「雨天時のみ」は約29%であり、他の利用頻度に比べて満足度が低い結果となっている。



【問10㉔ 総合的な満足度】(H21年度・H29年度調査結果の比較)

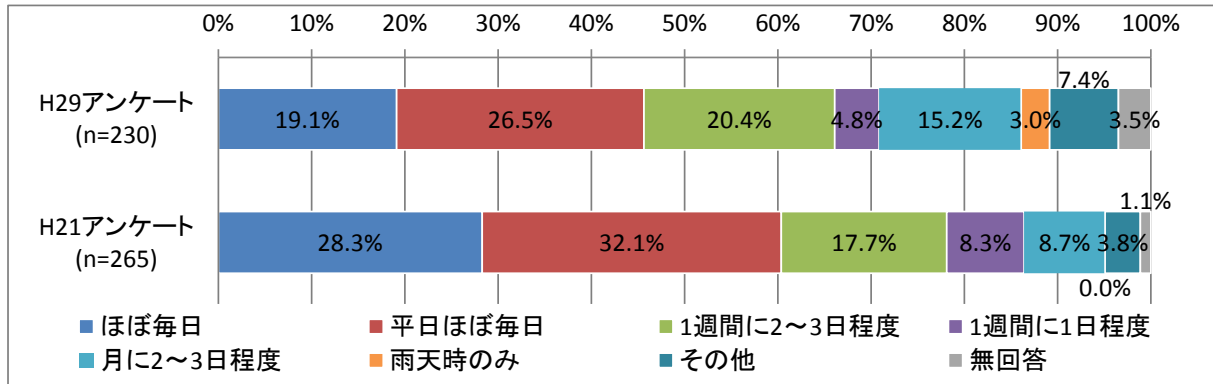
・平成21年度調査結果と比較すると、「満足」と回答した割合(満足+やや満足)が約73%から約58%に減少している。「不満」と回答した割合(やや不満+不満)は、平成21年度は約11%、平成29年度は約7%であり、ほぼ同程度である。



2.4 瀬戸北線の利用状況

【問 1 1 瀬戸北線の利用頻度】

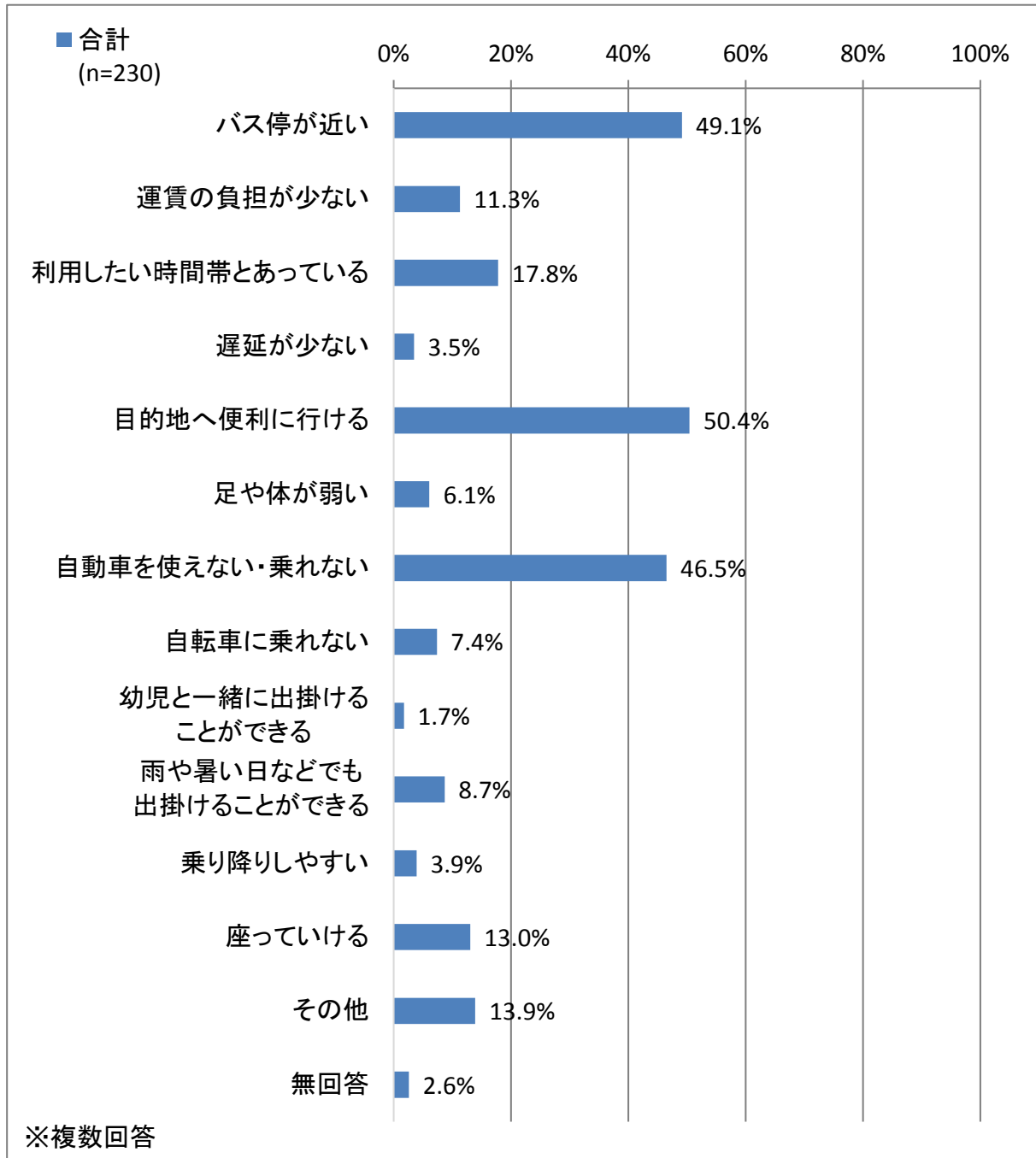
- ・「平日ほぼ毎日」が約 27%で最も多く、次いで「1週間に2～3日程度」(約 20%)、「ほぼ毎日」(約 19%)が多い。
- ・平成 21 年度調査結果と比較すると、利用頻度の高い割合(「ほぼ毎日」+「平日ほぼ毎日」)が約 60%から約 46%に減少している。



2.5 瀬戸北線を利用される理由について

【問12 瀬戸北線を利用される理由】

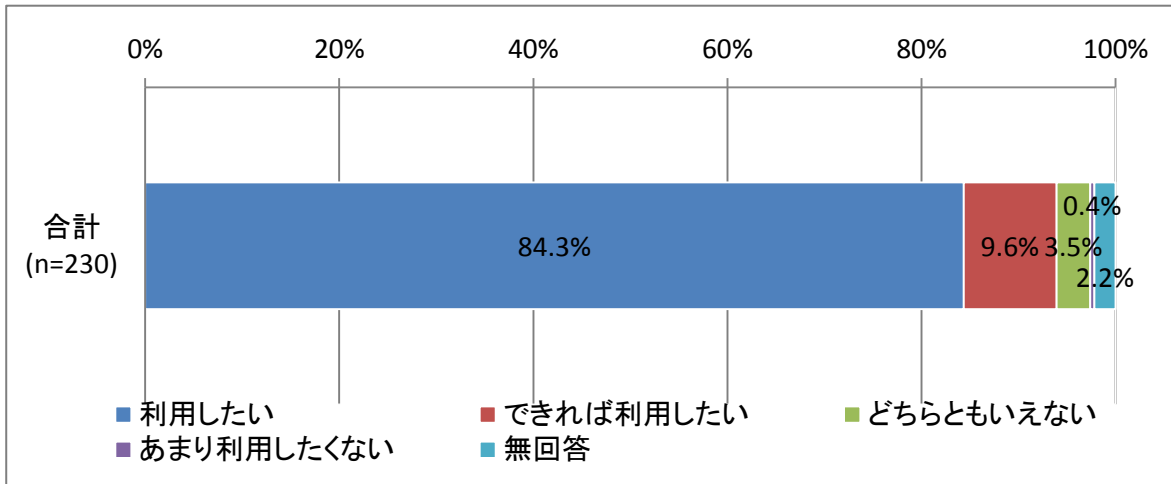
・「目的地へ便利に行ける」が約50%で最も多く、次いで「バス停が近い」(約49%)、「自動車を使えない・乗れない」(約47%)が多い。



2.6 瀬戸北線の利用意向について

【問 1 3 瀬戸北線の利用意向について】

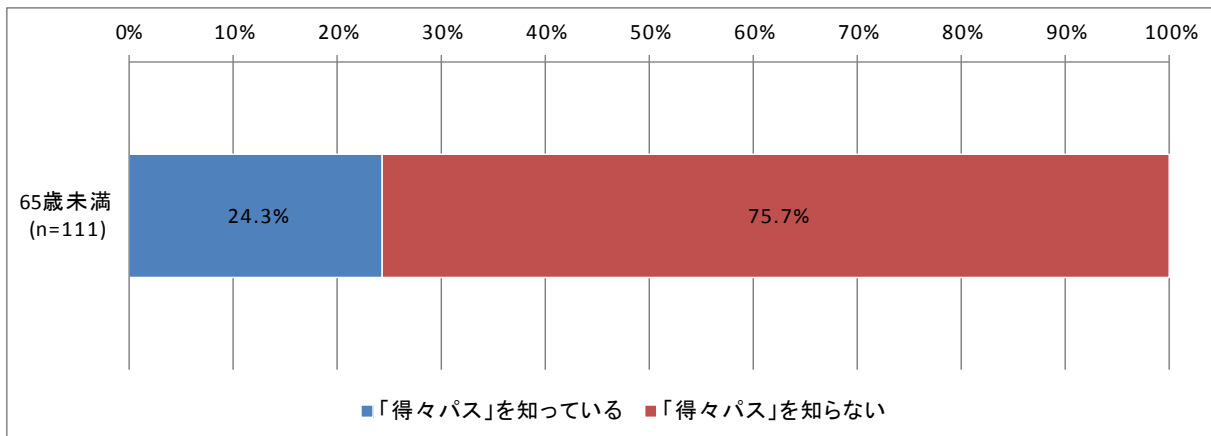
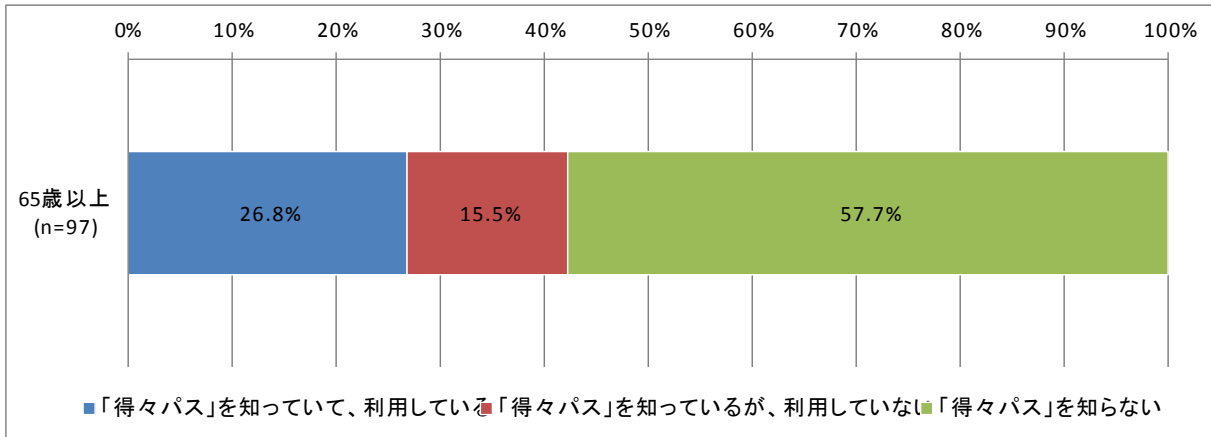
・「利用したい」が約 84%を占めている。



2.7 市内基幹バス（名鉄バス）の割引制度について

【問14 市内基幹バス（名鉄バス）の割引制度】

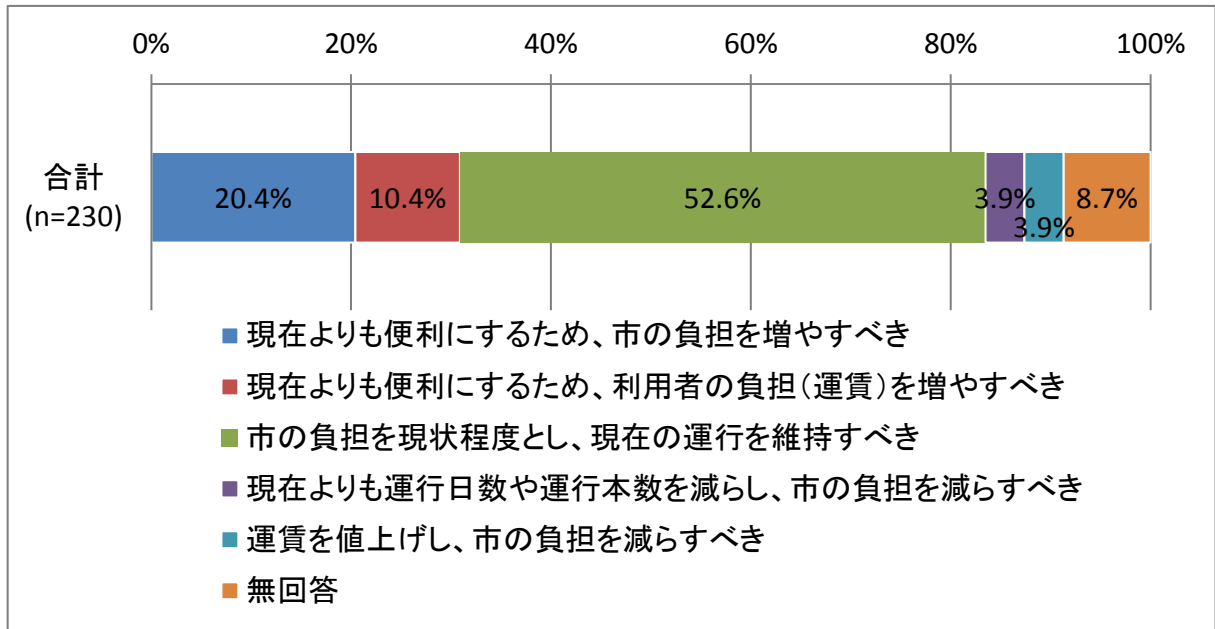
- ・ 65歳以上では、「得々パスを知らない」が約58%であり、過半数を超えている。また、「得々パスを知っているが利用していない」が約16%を占める。
- ・ 65歳未満では、「得々パスを知らない」が約76%であり、65歳以上と同様に過半数を超えている。



2.8 公共交通の費用分担と維持のあり方について

【問15 バスを運行するための費用負担】

・「市の負担を現状程度とし、現在の運行を維持すべき」が約53%で最も多く、次いで「現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき」(約20%)、「現在よりも便利にするため、利用者の負担(運賃)を増やすべき」(約10%)が多い。



2.9 瀬戸北線に対する考えやアイデアについて

【問16】瀬戸北線について利便性を高めるアイデアなど

運行ルートに関する意見
品野口から、窯町の方への運行するともっと乗る人がいると思う。
昼間とか土日利用を高めるため、道の駅瀬戸しなのを経由する。
「道の駅瀬戸しなの」まで延伸。
平日朝始発から8時台の瀬戸駅前行を新瀬戸駅まで延伸してほしい。
平日、土休の18時～22時台の瀬戸駅前発のバスを新瀬戸駅発に変更してほしい。
小さいバスにしてもっと細かく、細い道に入る。
名鉄瀬戸線に連絡するコースとしては最適な手段。是非現状レベルでの運行を期待する。
アピタ経由もほしいです。
文化センター、市体育館方面等行事があってもバスが無いので出掛けられない。
車に乗れないのでバスが必要(乗り合いタクシーもあり)。車に頼らなくてももっと本数細かい経路を回せば便利になる様に利用者も増える。
夏休みに孫等と水遊びに行きたいが岩屋堂までのバスがなくなった様に思っています。
終点がしなのバスセンターになっているが、延長して、多治見市まで行くようにしてほしい。(多治見市に観光等バスを使って遊びに行くことが多いため)電車だと愛環、中央線乗りかえのため不便である。バスだと座っていける。多治見に行くために楽であるが、バスセンターに車で送迎してもらう必要があるため。
名古屋方面のアクセスだけではなく豊田方面などへ拡大する(豊田系列の社員が新世帯は多いのではと予測)⇒企業と連携して補助が出るとか?愛環と競合になるが、愛環も高いのでバス停の位置によっては利用する人が増える?高速バスとか?
30年前は赤津から出て雨降りの時は便利でしたが廃止になりました。
今年70才になりVドラックに買い物に行くのに行きは歩きでも帰りは荷物を持って歩きは困難になってますので復活を希望します。
コミュニティバスがVドラックまで行ってくれれば助かります。
市の巡回バスの便をもっと増やして名鉄バスの対応できないところも補う。

利用促進に関する意見
公共交通の優位性、利便性をもっと宣伝し、利用促進の啓発に努めていく。市役所の職員も率先して通勤に公共交通を利用して、利用増のきっかけづくりをしていただきたい。
上半田川線、片草線、岩屋堂線を大增発し、乗り換えで瀬戸北線も利用してもらおう。
しなのバスセンターに駐車場をつくりパーク&ライドを推進する。
一日乗車券を発売する(瀬戸北線限定でなくてもかまわない。名鉄バスでは岡崎で1DAYフリー岡崎を発売している。)
観光に力を入れる。岩屋堂の秋は、瀬戸の奥入瀬と聞いた程、初めて秋もみじを見た時は、こんなに近くですばらしい景色と驚きました。外国人にもっと多く宣伝してほしい。
バス停周辺に、市民が利用したくなるような施設を作る。
バス停周辺でイベントを行い、定期的に利用者が増える努力をする。
ICカードを使いバスを利用した際にポイントを贈呈するサービスを陶生病院や瀬戸市役所等で実施する。(例、イオン長久手でICカードでリニモを利用した際にポイント(買物券)を贈呈している)
コミュニティバスがしなのバスセンターまでしか行かない。コミュニティバスを品野より瀬戸市街まで走らせる(有料)ようにすれば、コミュニティバスの利用も増加し、市民の利便性も高くなり、市の費用負担も少なくなると思う。
各家庭に各バス停付近ごとの特色ある施設案内図配布する。(例)病院、商店、観光施設 etc。
大きめの時刻表(図)を配布し高齢者の外歩きをうながす。
品野地区の住宅分譲による利用者増を図る。
利用した回数、料金によってアピタなどで使える買物割引券を設定する。(北線は駅周辺のアピタなど利用が多いと思うから)
ICカードを購入する店が少ない。拡大すれば利用者の増加も見込まれると思う(支店、コンビニ等)将来に向けて投資が必要。品野地域から利用される高齢者は利用(ICカード)が少ない気がする。もっとPRを!
沿線付近に巨大な宅地等を整備し住人を増やし利便性を高める。特に品野方面は土地が余ってそうなので宅地が重要。
瀬戸北線を利用して市役所北で乗車した人には市役所で利用できる優待券を配る。(市役所の食堂等)
岩屋堂などの観光地へ期間限定で増便する。(春:花見、夏:プール、秋:紅葉)
品野町は若い世帯が増加しているので、バスの存在をもっとアピールする。

運行本数に関する意見
朝・夕以外にも上品野行きを増加してほしい。
上品野～しなのバスセンター間午前 10 時～午後 2 時の運行がされていない。この間をコミュニティバスで運行しているが運行本数が少ない。せめて 1 時間に 1 本は運行してほしい。平成 26 年度に品野台地域で全戸アンケートを実施したがこの要望が多かった。
本数を増やしてほしい。
休日 11 時台 12 時台が 1 本しかないのが不便です。11 時 12 時台平日同様にしてほしいです。
客の少ない昼間を減らせば良いのでは。
バスの本数を増やすべき。品野は、車をもっていない人だともものすごく不便です。本数を増やせば利用者数が増えると思います。学生は特に使うことが多いので助かります。
瀬戸北線の利用者が減少した原因は、10 時台から 3 時台まで品野～上品野までの交通手段が 2 時間に 1 本のコミュニティバスしかなく、市街地まで出かけるのにはしなのバスセンターで乗りかえないといけなくなったため、というのも一因かもしれません。それでも便数が少なくコミュニティバスを利用し、しなのバスセンターで名鉄バスに乗り換え、または、名鉄バスからコミュニティバスに乗り換えをしてでも利用しなくてはいけない方もいらっしゃいますので、何卒今後とも、よろしく願いいたします。
バスの本数を増やしてほしいです。1 時間に 1 本のところ 2 本にしてほしいです。
1 時間に 1 本でよいと思います。朝・夕は別ですが日中は 1 本でよいと思います。
もっと便利よく、本数も増やして便利にすれば乗る人が増えるかも。
全体的のバスの本数(休日)を 1 時間 3 本くらいは欲しい。
現状 1 時間に 2 本運行されていますがこれ以上本数が減るとより利用者が減るので現状の本数は維持するべきと考えます。
人口減少、少子高齢化の進展は今後も進むと考えられますが、現在のバス運行の本数は最低ラインだと考えています(上品野-新瀬戸駅)。
これ以上少なくなることはないよう、特に夜間(瀬戸駅-上品野)22 時台にコミュニティバスの導入をご検討いただきたいと思います。
利用客の多い時間帯に本数(運行)を維持し昼の時間は減らす。
菱野団地→陶生病院、菱野団地→瀬戸駅→陶生病院 までは結構利用者が多いと思うので本数をもう少し増やすとか。 市の負担が増、市民の負担が増になると思う。
これ以上減らされると困ります(本数)。
子供が小さく電車やバスが好きで乗っているだけだったので(楽しみのため)生活に直結することはないのですが…。陶生病院を通る路線でもあるし、朝・夕はある程度の本数を確保して、その他の時間帯は減らしても良いのではないのでしょうか。新瀬戸～尾張瀬戸間は電車があるし、料金も電車のほうが 10 円安いので、バスに乗る利点は少ないと思います。

運行本数に関する意見
私は瀬戸市外の高校に通っているため名鉄バスと名鉄瀬戸線で通学しています。普段の通学の中ではあまり不満はありませんがバス利用で一番困っているのは定期テストの際の帰宅する時のバスの本数が少ないことです。テストが3限目までであると11時50分までテストが終わらないため、そこから電車に乗ると12時台で1本しかない18分のバスに乗れません。そうするとパーティセとの自習スペースで勉強しようと思いますが、この時期はほかの高校もテスト期間であることも多いため席がうまってしまっていることも少なくありません。こうなると、1時間後の13時18分まで何もできない…という事が起きてしまいます。なので12時台のバスを1本増やしていただけたら良いなと思っています。高校生のテスト期間にとってこの1時間の空白は痛いです。
12時台のバスの本数を1本増やすということを検討していただければ幸いです。
もう少し本数を増やす。(20分に1本とかでもいいです。)

バスサービスについての意見
始発のバス停に囲いが無い為、冬等は特に待っている間、大変ですので、早めにバスに乗せて頂けると有難いですが…
1回乗車毎にポイントがもらえる。一定ポイントが貯まるとどこかの店の金券として使える。
遅れてくるなら時刻表を直してほしい。遅い時は5分位遅れてくるので、これから寒くなるので吹きさらしのバス停で待つのは少々つらいです。
コミュニティバスとしなのバスセンターの時刻を表で調べる事が困難、時間帯が合わないし。
スマホの時代かな…時刻調整。
思いつく事は瀬戸市の観光化を進め、観光者へのフリーパス。3か月、6か月、1年間のフリーパスを作る。フリーパス購入によって、おまけがたまる。お金が先に入るからいいかも。おまけは映画館とかレジャー施設とタイアップ。瀬戸市だとボウリング？松屋・吉野家？
乗り合いタクシーも良い。
商業施設への乗り入れとか(瀬戸駅前からアピタまでかなり距離があります)。愛環との連絡とか(岡崎行にあと数分で乗れないことがあります)きめ細かい配慮があればいいと思います。

バス停に関する意見
尾張瀬戸駅バスロータリーの利用方法 3番乗りばでの待つ並び方を他の乗り場と同様に。現在はパーティから出たまま直線で並んでいるが、乗客が多い場合や雨降りなどはパーティ、ドア付近の混雑がひどくなる。ロータリーに沿って屋根があるので、その屋根の下に乗り場から西に並ぶようにするとよいのではないかと思います。
尾張瀬戸駅バスロータリーの利用方法 ロータリーにあった灰皿撤去に伴い喫煙者のポイ捨て等が増加。灰皿撤去はありがたい判断と理解しているが、喫煙者のマナーが悪く、いろんな場所で吸い、捨てるように変化している。何かしらの啓蒙が必要と思う。
新瀬戸駅からの帰りのバス停の「品野」の位置が道路沿いで結構危ないと思います。
アピタ瀬戸店のごく近くに停留所があると有難いです。
ほぼ全てのバス停が、夜暗いので、街灯との組み合わせで照明を設置する。
バス停が近いので、それが一番名古屋へ出るのにもタクシーよりバスの方が気楽で好きです。

運行時間に関する意見
往復の時間帯を一考され、名鉄バスとコミュニティバスがほぼ重複する時刻設定の見直し。
バスがあるだけで、とても有難いのですが、鉄道を降りた後にバスがないことがあるので、接続がよいダイヤだと利便性が高まり、利用する率が高くなると思います。
私は9時前後(行き)、3~4時(帰)利用することが多いのですが、特に帰りは瀬戸宮前から乗る事が多いのですが、必ず少し遅れて来ます。駅から(始発)そんなに遠くないのに、なぜ遅れてくるのか？
私は上品野に住んでいますが10時~3時台のバスがないので買物、通院しても3時過ぎまで帰りのバスがないので昼間帰ることもできず新瀬戸のバローなどで時間をつぶしています。
老人会としても市民公園にてグラウンドゴルフに行っておりますが思う時間帯に運行が無く残念に思っております。
コミュニティバスの運行会社と互いに乗りつぎがスムーズにいくように時刻表を少しだけでも調整していただくと助かります。
瀬戸線と上品野行きが合わない。
土、日、祝日の夜9、10、11時台には各時最低1便の市巡回バスの運行を望みます。

運賃に関する意見
市財政が黒字であれば、交通機関に投資して、市全体の福祉にあてるべき。無料化等。
通勤定期を使用していますが、割引率が低いので改善できれば定期的に利用される方が増えるように思います。(現状1ヵ月に21~22日位利用しないと定期券代がペイできない)割引率が多くなれば定期券を購入しておいて、近辺の移動にもバスが利用できると思います。(特に高齢者)
利用料金が100円なら歩いた方がいいと言う人が多い。
乗りつぎ割引等努力していると思います。
利用者の運賃値上げも困ります。
瀬戸市内は一律同額にすべきです(名古屋市みたいに)。
品野火の見下から品野坂上で40円値上げするのをやめてほしい
名鉄は高い。市バスを運行できたら変えてほしい。

バス存続に関する意見
車を持っていないから、バスが無くなったら大変です。仕事行けなくなります。
名鉄バスしか移動手段がない。廃線・減線は止めてほしい。
バスを無くさないで欲しい。
瀬戸北線を切り捨てないで下さい。
廃線になったら死活問題です。
市民の足を無くさないで欲しい。
自動車が無いから仕事行くのにどうしたらいいんですか。
継続して運行をお願いします。
月1度でも病院にいきます。自動車に乗れないので今まで通りでありますよう、お願いいたします。
バスが通らないと私達はこまります。
自動車の運転免許が無いので現在の運行を維持してください。
品野地域の年寄りの方や、体の不自由な方、学生さんや子ども達にも、必ず必要ですので、もし利用者が減少してしまっても、公共交通が必要な方は、大勢いらっしゃると思いますので、今後もバスの運行を存続していただきたいと願っています。
名鉄バス以外交通手段がないので現在より悪くされるのは困る。
買物等名鉄バスに乗っていくしかないので高齢者をおきざりにしないでほしい。
毎日バスに乗るのでなくなると困ります。
路線バスの廃止は絶対にしないでください！！
バスはあった方がよい。
市の負担は大変ですが現状維持。
ぜひ現状維持を保って頂きたいと願っています。
交通手段はバスのみです。絶対無くさないでください。
自分は視覚障害者のためバスの廃止は通勤できなくなるので困ります。
利用者の負担を増やしてもバスがないと困る人がいる。
なによりこの線の存続をせつにお願いいたします。

バス車両に関する意見
朝・夕は混雑するので、現状のバス車両で運行し、日中混雑が少ない時間帯は、赤津線で運行しているような小型バスの運行をすれば燃料代等の経費削減ができると思います。
けっこう高齢者の使用(利用)がありますので、ステップの低い車両ですと乗り降りに負担がないと思います。
昼間はチョロQ の様な中型のバスにしたら良いのではと思います。赤津まで走ってませんか？
大型バスではなく、中型バスを利用してコストダウンをはかれないか？
乗降客の少ない時間帯のバス小型化、バスの電気ハイブリット化。
小型バスで営業してほしい。数が少なくなると昼間不便だから。
時間帯により小型バスにする。
バスを今より少し小さくしても維持費用は変わりませんか？
使用車両を適正化する(日中は運送力過剰なことが多く見られる)。朝夕は現状で良いと思う。
乗車率の少ない時間帯は、バスをもっと小型化にしたり、コミュニティバスを走らせる、利用する。
運行に使用している車両を小型化し現在の社会に対応したりし経費削減。
小型バスを増やす。
私の乗る8時のバスは陶生病院へ行く人が多いので年寄りの人が座れない事が多いがもう少し大きいバスはありませんか。
バスの座席を増やす。大きくする。

バス運行廃止に関する意見
コミュニティバスを1時間1本でいいので現北線コースを走らせて北線を廃止。

その他の意見
市街地への投資(無駄)をやめて、人口減地域に投資して、健康寿命、市の活性化(瀬戸は田舎が大変良い)を広くする。
「せとものせと」と言われる時代は過ぎ今や瀬戸は名古屋のベッタウン化しており、高齢層の陶器業は廃業化していております。自動車産業の繁栄により、関連企業の進出、労働者の多国籍化しておる状況です。瀬戸駅からの朝のラッシュ時の人数はかなりのものであります。住みやすい瀬戸市内を作り、住民が安心して永住できる為の住居をすることです。安い土地、広い土地、大きな家、便利のいい道路(広い道)、等を作る為都市を再開発すると良いと思います。
何も悪いところはありません今まで通りで良いです。
一度要望どおりに実施するとどれ程負担増になるか試算していただきたい。多少の負担増となっても利便性を高めることにより利用増になれば良いのではないかと。
人口減、少子高齢化の中で、どんなまちづくりをしていくか、地域と行政が協働してつくり上げていくことが不可欠。地域の人口減を増に転換する施策を実行していく。そうした中で、公共交通の利用増につながっていく。
企業と提携して広告費(ラッピングバス・車内広告)を増やしてみてもどうですか？
市の財政を優先的にまわしてほしい。
交通弱者をきりすてないで下さい。
国鉄バス(省営バス)初の路線の生き残りとしてアピールする。
ほとんどバスを利用していない為アイデアが浮かびません。
小さなワンボックスカーで路線バスの走らない時間に巡回してもらえると嬉しい。市役所の中にそういった運転者の部署をつくれればいいのではないのでしょうか？職員の余剰がありそうに思えるので…
国庫補助金をもう少し負担してもらえなく、市議会に頑張ってもらいたいものです。
私は、ここ最近ほぼ毎日、中品野から中町まで、時間にすれば5分程度ですがバスを利用しています。そして1ヶ月に1回程度、陶生病院の通院その他の用事でバスを利用しています。車の運転ができる家族が不在の時には外出する時必ずバス、コミュニティバスの利用をしなければいけません。
毎日利用させて頂いています。ありがとうございます。
バスがあるから病院や買い物にいけます。それから市役所へいたりいろんな所へ用事はバスで間に合ってます。
バスがあつてバスのおかげです。
空席が多くガラガラの状態で運行しているバスを家から見ていると淋しい気持です。
小荷物やメール便をバス停の近くの民家と協力して宅配のシステムを考えれば地域の皆とバス会社の利益につながる様になると思いますがどうでしょう。
高齢化社会になり利用者がどんどん減少します。本当は免許返上しても逆転しなければ…。
買い物した荷物を持って歩くのは少しの距離でも大変です。
車を利用しなくてもよい環境にないので非常に厳しい状況と推察します。
駅にアクセスするのにバスが一番メリットがあるようにする。バス優先道路、最寄乗車、自家用車の駐車場が遠い、など。
今は不便だから乗らないかも。
乗り合いタクシーも考えて下さい。
採算を取れるようにする為にも、瀬戸北線沿線に企業・住宅の誘致するべき。多治見、栄、岡崎 etc のアクセスも良好ではあるので、法人税や固定資産税の優遇などで、街自体の発展を試みないと解決しないと思う。

その他の意見
路線の赤字、補填にのみ、焦点を当てず都市整備計画からきちんと見直さなければ、瀬戸市全体の将来も暗いと思う。
現在コミュニティバスが自宅方面を通っているが利用者が全くいっていいほどいない。
品野町、五位塚定住者などは案外県外からの移住者が多く瀬戸の街を充分知らない者が多い。
街の活性化を含めて考慮頂きたいと思う。
月に2~3回しか利用できないけど続けてほしいと思います。
これから高齢者が多くなり免許返納者が増える可能性があると思いますので、そのことも考えてほしいです。
個人の負担が少し位増えても良い。
私は自動車に乗れないので名鉄バスのみです。
80才の障がい者なのでバス代は半額にしてもらって助かっています。
運行日数を減らされては毎日利用している人にとっては大変不便になり、今よりも利用客が減ると思います。
コミュニティバスを事前予約制とし、利用者0の場合は運行しない(現在のように曜日指定で運行されていてもそもそも利用しにくい) 事前予約はバス利用時や電話、ネットでもできるようにする。
老後の健康のためにウォーキングに参加しておりますが岩屋堂へは年に1回程出かけます。
小型のバスでも運行されたら車に乗らなくなれば利用したいと思ってます。
市議会議員の給料(瀬戸市は少しばかり多すぎるので)をバス運行予算に回すべき。
私は80才の高齢者です。いつもバスに感謝しています。
車の運転できる人も、バスを利用した方が便利なのにと時々思います。利用が増えることが第一です。
どこかでイベント等を実施する時、経費の面のあるが臨時便が格安で出来るよう配慮も必要。
名古屋学院大学の坂を上がるわが家。
品野方面からの利用が重要になると思うので観光開発を進める。
尾張瀬戸駅にスーパーなどを作り品野方面からの老人の利用を増やす。
アピタはちょっと遠いと言う人が多いので駅にあれば助かるという人が多い。
私は74才女性です。このごろ足が弱くなりこれでは家族に迷惑がかかると思い車での送迎を断りバスを利用するようになりました。楽しい事も多く今まで見えなかったことが見え心身ともに元気になった様な気がいたします。今後もバスを利用したいと思っております。同じボランティア仲間とお話をしましたら同意されました。車に乗れない(免許がない)事をさみしく思ったことが有りましたが、今はそれを楽しんでおります。ボケ防止としております。
良い案がありません。
アクトスに週5日ほど通ってるので便利です。
乗り合いタクシーも良い。

その他の意見

瀬戸北線の沿線は今後さらに高齢化が進み独居老人が増えると思われます。

せと品野インター近郊にショッピングモール(埼玉県越谷市のレイクタウンアウトレットのような20～30代の子育て世代の共働き夫婦を狙った大型ショッピングセンター)を誘致するとともに、豊田市、刈谷市にあるトヨタ自動車グループ企業で働く30代夫婦を狙った「高速通勤できる森のまち」をイメージしたニュータウンを整備し、トヨタホーム等のハウスメーカーに「森のまち」をイメージした家を建ててもらう。(千葉県流山市は「都心から一番近い森のまち」として8年で人口を10%(1万6千人)の増加に成功している)

土岐のプレミアムアウトレット近郊も人口が増加しており、瀬戸北線だけでなく瀬戸市の人口減少対策にもなると思います。